

吉野川市の教育や生涯学習に関する アンケート

結果報告書

2018（平成30）年11月

吉野川市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	2
II 調査結果の考察	3
1. 回答者について	3
2. 本市の教育施策について	3
3. 本市の子どもについて	4
4. 教育について	5
5. 教育における家庭・学校・地域の役割について	5
6. 生涯学習について	6
7. 市の図書館（室）について	7
8. 市のスポーツ環境について	8
9. 文化財の保護活動について	8
10. 総合的なことについて	9
III 調査の結果	10
1. 回答者について	10
2. 本市の教育施策について	13
3. 本市の子どもについて	15
4. 教育について	21
5. 教育における家庭・学校・地域の役割について	24
6. 生涯学習について	30
7. 市の図書館（室）について	37
8. 市のスポーツ環境について	40
9. 文化財の保護活動について	47
10. 総合的なことについて	48
11. 各設問の「その他」の回答	49
12. 自由回答	54
IV 調査票	61

I 調査の概要

1. 調査の目的

吉野川市教育委員会では、2009（平成 21）年 3 月に「吉野川市教育振興計画」を策定し、豊かな人間性を育むまちづくりの実現を目指して、中・長期的な視点に立った教育行政を推進してきました。

「吉野川市教育振興計画」が 2018（平成 30）年度で終了するに当たり、新たに次の 10 年間の本市の教育行政の方向性及び基本的目標や具体的な施策を明らかにするために、「吉野川市教育振興計画（第 2 期）」を策定することとなりました。

本調査は、第 2 期計画の策定に当たり、市民の皆さまの教育や生涯学習、文化・スポーツ（レクリエーション含む）活動などに対するご意見をお聞かせいただき、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2. 調査概要

- 調 査 地 域：吉野川市全域
- 調 査 対 象：①市内の学校・園に通う小学校 5 年生・中学校 2 年生及び就学前の子どもを持つ保護者の方
②市内にお住いの 18 歳以上の方
- 調査対象者数：①764 人
②1,000 人（無作為抽出）
- 調 査 期 間：①2018（平成 30）年 8 月 27 日（月）～9 月 10 日（月）
②2018（平成 30）年 8 月 27 日（月）～9 月 14 日（金）
- 調 査 方 法：①学校・園での直接配布・回収
②郵送配布・回収

3. 回収結果

調査名	調査対象者数 （配布数）	有効回収数	有効回収率
吉野川市の教育や生涯学習に関するアンケート	1,764	964	54.6%

4. 報告書の見方

- 回答結果は、小数第2位を四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問及び選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果の考察

1. 回答者について

(1) 性別、年齢、子どもの有無について

問1【性別】をみると、女性が75.3%と大半を占めています。また問1【年齢】をみると、「30～39歳」と「40～49歳」を合わせた割合は66.2%となっており、回答者の中で子育て世代の割合が大半を占めています。

このことは、子どもの有無（問3）の結果とも関連しており、問3では「子はいない」と答えた人は7.2%と1割を下回っています。

「全体」の結果分析には、子どもがいる子育て世代（30～49歳）の女性の意見が、強めに反映されています。

(2) 居住地区、居住期間について

問1【居住地区】をみると、「鴨島地区」が55.8%と6割近くを占めています。居住年数（問2）をみると、鴨島地区では「10～20年未満」と「20年以上」を合わせた割合は82.7%となっており、「全体」の分析結果には鴨島地区に長年（10年以上）暮らしている人の意見が、強めに反映されています。

2. 本市の教育施策について

(1) 本市の教育施策の満足度と重要度について

本市の教育施策についての満足度と重要度（問4、問5）をみると、満足度・重要度共に平均値より高いのは、「幼児教育の質の向上」「幼稚園・認定こども園の子育て支援の充実」「豊かな人間性の基礎となる心の育成」「心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成」「子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実」の5項目でした。

「自己実現を図るための確かな学力の育成」「未来を切り拓く力の育成」「個別の教育的ニーズに応じた教育の推進」の3項目は、重要度は平均値より高いのに満足度が平均値未満となっており、特に注力が必要な課題といえます。

3. 本市の子どもについて

(1) 子どもに伸びてほしい点について

子どもに伸びてほしい点(問6)をみると、男女で回答に違いがみられます。最も多いのは男女共「思いやりの心」で、男女それぞれ6割を超えていますが、次いで多いのは男性で「協調性」と「自立心」、女性で「根気強さ」と「向上心」となっています。

「全体」の結果だけをみると「協調性」と「自立心」はそれぞれ第4位以下となっていますが、今後の施策を考える上で、考慮すべき要素であると考えられます。

また、「学力」は「全体」では32.0%と第5位であり、子どもの学力よりも心のありようなどを重視する姿勢がうかがえます。

(2) 子どもの道徳心や公共心について

子どもの道徳心や公共心に関する意見(問7～問7(2))をみると、年齢別で差がみられます。子どもがいないか、いても小さな子どもが多い18～29歳では、子どもの道徳心や公共心が「低下している」と答えた人は3割未満でしたが、他の年齢層では3割以上となっています。特に30～59歳の子育て世代では「低下している」が多くなっており、最も多い50～59歳では5割を超えています。

問6で、子どもに伸びてほしい点として「思いやりの心」が最も多くなっていることと合わせると、他人に配慮できる子どもを育てることが、重要な課題であると考えられます。

また、道徳心や公共心を育てる方法(問7(2))で「家庭での教育を確実にする」が70.1%と最も多くなっていることから、学校だけでなく家庭においても、子どもの道徳心や公共心を育む教育が行われるよう、働きかけることが求められています。

(3) 子どもの情報環境について

子どもの情報環境(問8～問8(4))についてみると、ほとんどの家庭でインターネットに接続された機器を子どもが使える環境にあり、それによりトラブルになったことがある(問8(3))という人も少数ながら存在します。

一方で、通信機器の使用に関する家庭内のルール(問8(4))は、2割近い家庭で「決めていない」となっていることから、情報化社会における正しい対応・対処の仕方を、子どもと保護者の双方に対して啓発していくことが重要となっています。

4. 教育について

(1) 子どもの教育環境や地域とのかかわりについて

本市における子どもの指導や教育環境について、幼稚園と認定こども園（問9）に期待することとしては「子どもの安全に配慮する」が、小・中学校（問11）に期待することとしては「子どもの悩みに真摯に対応する」が、それぞれ最も多くなっています。

安全性については保護者や地域社会、ときには民間の事業者（警備会社等）とも協力しながら、地域全体で子どもを守る体制を強化することが重要となっています。

子どもの悩みについては、いじめや自殺などを防ぐ意味からも、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーなどの専門家の手厚い配置が、求められています。

また、学校と地域とのかかわりについて（問10）、地域と学校との積極的な交流が重要だという意見が多いことから、より地域に開かれた学校づくりが求められています。

(2) 特別支援教育について

本市の特別支援教育に望むこと（問12）として、「子どもの特性にあった支援」と「友だちや集団とかかわりのなかでともに育ち合う」が5割を超えており、個々の障がいの状態に応じたきめ細やかな教育・支援や、地域に開かれた特別支援教育が求められています。

(3) 学校再編について

学校再編について（問13）は、いずれの地区についても慎重に推進すべきとの意見が早急に推進すべきより多いことから、今後の推進については、地域の十分な理解を得ることが重要となっています。

また、「わからない」という回答が美郷地区で半数を超え、他の地区でも2～3割台になっていることから、学校再編の意義や必要性、方向性などについて、一層の周知に努めることが重要となっています。

5. 教育における家庭・学校・地域の役割について

(1) 重要な役割を果たす主体について

教育における家庭・学校・地域の役割について（問14）は、最も重要な役割だと思うものとして、いずれの項目も「家庭・保護者」と「幼稚園・認定こども園・学校」に意見が集中しました。

子どものマナーや思いやりの心、生活習慣、情緒面などについては「家庭・保護者」の役割であると考えている人が多く、この結果は問7（2）の道徳心や公共心を育てるには「家庭での教育を確実にする」が最も多いこととも合致しており、これらに関する有益な情報を保護者に提供することが重要となっています。

また、幼稚園・認定こども園、学校などの教育機関に対しては、学力や運動能力、コミュニケー

ション能力や論理的な思考力などを育てる役割が期待されています。

「地域」と答えた人の割合はほとんどの項目で1割を下回っており、唯一、「生まれ育った地域を愛する心を育てる」で、「地域」が23.0%となっています。

教育における地域の役割については重要性が低いという結果にもみえますが、一方で問10でみたように、地域と学校との積極的なかかわりを望む声も多いことから、地域全体で子どもを見守り育てる地域づくりも重要だと考えられます。

(2) 家庭と地域のかかわりについて

家庭と地域のかかわりの変化について(問15、問15(1))、すべての年齢層で「かかわりが弱くなっている」が半数以上となっています。その理由として、「社会全体として、地域や他人に干渉しない風潮がある」が最も多くなっており、プライバシーを尊重する傾向が影響していると考えられます。

一方で、「保護者が仕事などで忙しく、近所で顔を合わせる機会が少ない」も3割を超えていることから、ワーク・ライフ・バランスの推進が、地域で子どもを見守り育てる体制づくりに重要であると考えられます。

(3) 教育に対する協力の意思などについて

教育の場面で協力する意思があるかどうかについて(問16)は、70歳未満の年齢層ではいずれも半数以上の人「はい」(協力したい)と答えており、協力できること・したいことについて(問16(1))は、「学校行事・授業への参加」と「児童・生徒の通学の見守り」がいずれも半数を超えています。

問9や問11でみたように、幼稚園・認定こども園・学校などに対して子どもの安全性に配慮するよう期待する意見が多くなっていますが、子どもの見守りなどについては、地域の協力が得られやすい環境が整っていると考えられます。

6. 生涯学習について

(1) 参加の有無や評価について

市や公民館で行っている講座への参加状況について(問17)は、70歳未満の各年齢層では「参加したことがない」が半数を上回っています。特に18～29歳では「参加したことがない」が9割近くに達しており、若い世代にとって魅力的な企画を考え、実施する必要があります。

同時にワーク・ライフ・バランスの推進を図り、世代にかかわらず文化・芸術・スポーツ活動に親しみやすい環境をつくることが重要と考えられます。

参加した人の満足度(問17(1))は、おおむね好評といえますが、18～29歳で「どちらかという不満である」が20.0%となっていることや、この設問の回答者が問17でみたように高齢の人が中心になっていることを考えると、やはり若い世代も意識した企画内容を工夫する必要があると考えられます。

(2) やってみたいこと、不足している点などについて

生涯学習でやってみたいことについて（問 19）は、参加者の少ない 18～29 歳で「家庭・生活に関すること」が、30～39 歳で「スポーツ・レクリエーション」がそれぞれ最も多くなっています。

この世代の参加を促進するためには、それぞれの項目の中で特に何がしたいかをさらに精査し、希望に応える必要があります。

40 歳以上では「健康づくりに関すること」が最も多くなっていることから、健康に関する正しい情報の提供や、健康づくりに役立つスポーツなどの活動を一層充実させることが重要となっています。

また、不足している点として（問 20）、美郷地区で「指導者の人数」が他の地区と比べて 10 ポイント以上多くなっています。実情をさらに精査し、必要があれば指導者の充実に努める必要があります。

7. 市の図書館(室)について

(1) 利用頻度、満足度などについて

図書館(室)の利用頻度について（問 21）は、「週に 1 回以上」「月に 2～3 回程度」「月に 1 回程度」を合わせた割合が 15.9%と 2 割を下回っており、逆に「過去に何回か行ったことがあるだけ」が 31.5%、「利用したことがない」が 29.1%と、利用頻度が高いとはいえない状況です。

満足度（問 21(1)）では、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた割合が 50.8%と半数を上回っていますが、利用者が少ないことを考えると、決して高評価とはいえない状況です。

利用しない理由（問 21(2)）としては、「特に必要性を感じないから」「必要な本は自分で買うから」「本をあまり読まないから」などと、個人的な事情が上位を占めていますが、これらは現状の図書館(室)に魅力を感じられないことの反映とも考えられることから、ニーズに応じた一層の魅力向上に努める必要があります。

(2) 多目的センター(仮称)内の新図書館について

麻植協同病院の跡地に建設中の図書館(多目的センター(仮称)内)の認知度について（問 22）は、鴨島地区を除いては、「知っている」と答えた人が半数を下回っています。鴨島地区でも「知っている」は 52.4%にとどまっており、全市的に認知度は高いとはいえない状況です。

新図書館に期待することとしては、「駐車場や駐輪場が広いこと」や「自習室や読書スペースが広いこと」など施設のハード面に関することや、「実用書、ベストセラー、趣味・娯楽に関する本や雑誌が豊富であること」などソフト面に関する意見が多く、今から拡充できる部分については対処すると同時に、一層の広報が重要となっています。

8. 市のスポーツ環境について

(1) 運動やスポーツの頻度とニーズについて

運動やスポーツの頻度について（問 24）は、すべての年齢層で「ほとんどしていない」が最も多くなっています。生活の中で体を動かすことが少なくなっている状況を考えると、運動やスポーツの重要性をさらに啓発・周知する必要があります。

一方で、運動やスポーツを今後「したい」と答えた人（問 25）はすべての年齢層で半数を上回り、その理由として「健康・体力づくりのため」が 8 割を超えていることから、環境を整えば、運動やスポーツの頻度は上がると考えられます。

運動やスポーツをしない理由（問 25(2)）としては、「時間がないから」が 56.5%と半数を上回っていることから、ワーク・ライフ・バランスの推進が、ここでも重要な課題となっています。

(2) 新アリーナ・多目的グラウンドについて

充実してほしい運動・スポーツの取組について（問 26）は、「運動・スポーツ施設の増設」が 39.0%で、「健康・体力づくり講座の開設」の 42.6%に続いて第 2 位となっています。

新しい運動・スポーツ施設のニーズは高いといえますが、一方で麻植協同病院跡地に建設中の新アリーナについて（問 27）は、「知っている」と答えた人の割合は、最も多い鴨島地区でも 6 割を下回っています。

また、新アリーナに期待することとしては「利用料金が安いこと」が 7 割近くとなっており、利用頻度を上げるためにはニーズを満たした料金設定にした上で、一層の広報が重要となっています。

川島地区の中央美化センター跡地に整備予定の多目的グラウンドについても、認知度の低さや安さに期待する点は同様で、新アリーナ同様の対処が求められています。

9. 文化財の保護活動について

(1) 文化財の保護活動に対する関心について

文化財の保護活動に対する関心度について（問 31）は、ほぼ、年齢層が高いほど関心が高い傾向となっています。しかし「関心がある」が最も多かった 80 歳以上でも、その割合は 3 割を下回っています。

逆に、「関心がある」が最も少なかった 30～39 歳では、その割合は 3.7%にとどまっており、文化財に触れる機会があれば何がしたいかという質問（問 32）でも「興味がない・参加しない」が 3 割を超えるなど、文化財の保護活動に対する関心は、低いといわざるを得ない状況です。

幼稚園・認定こども園・学校などでの学習や野外活動などを通じて、幼少期から文化財に親しむことや、市の文化財保護活動についての一層の広報・周知が重要となっています。

また、してみたいこととして「市内文化財見学ツアー」が 34.9%と最も多いことから、生涯学習の一環として、文化財に触れる機会をつくることも、一定の効果があると考えられます。

10. 総合的なことについて

(1) 市の教育に関する情報収集の手段について

市の教育についての情報を何で知るかについて（問 33）は、30～39 歳と 40～49 歳を除く各年齢層で、「市の広報」が最も多くなっています。

30～39 歳と 40～49 歳では「幼稚園・学校からの通知文書など」が最も多くなっており、インターネットが発達した現在においても、紙媒体による広報が重要であることがわかります。

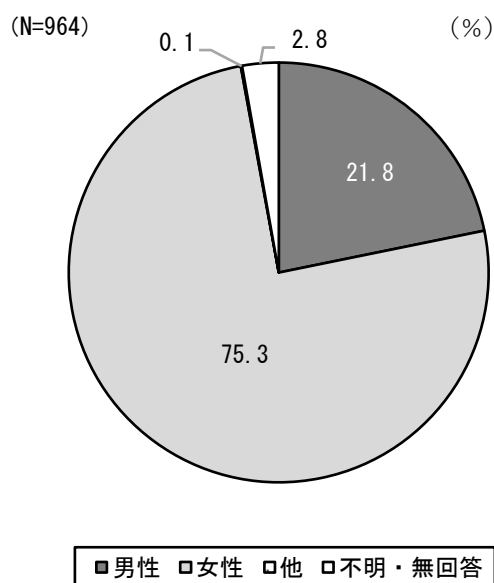
一方で「インターネット」と答えた人の割合は 18～49 歳でも 2 割未満、50 歳以上では 1 割未満となっており、広報紙をはじめ多様な媒体を活用した広報が重要となっています。

Ⅲ 調査の結果

1. 回答者について

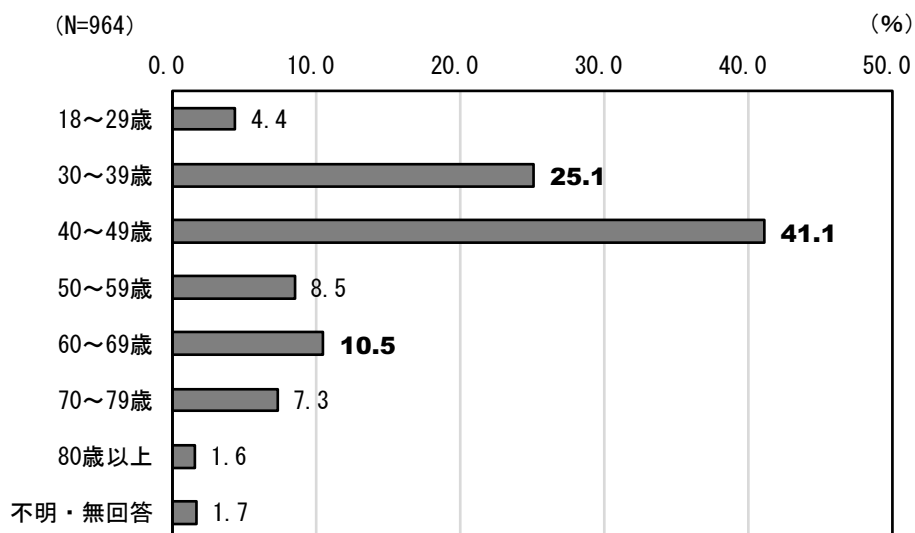
問 1 【性別】

「男性」が21.8%、「女性」が75.3%となっています。



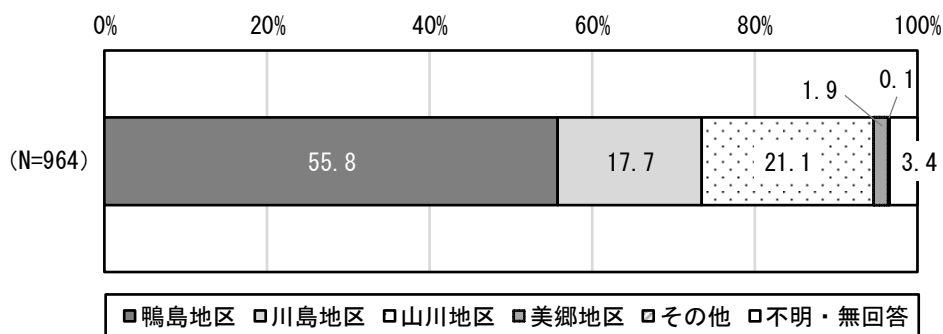
問 1 【年齢】

「40～49 歳」が41.1%と最も多く、次いで「30～39」歳が25.1%、「60～69 歳」が10.5%となっています。



問1 【居住地区】

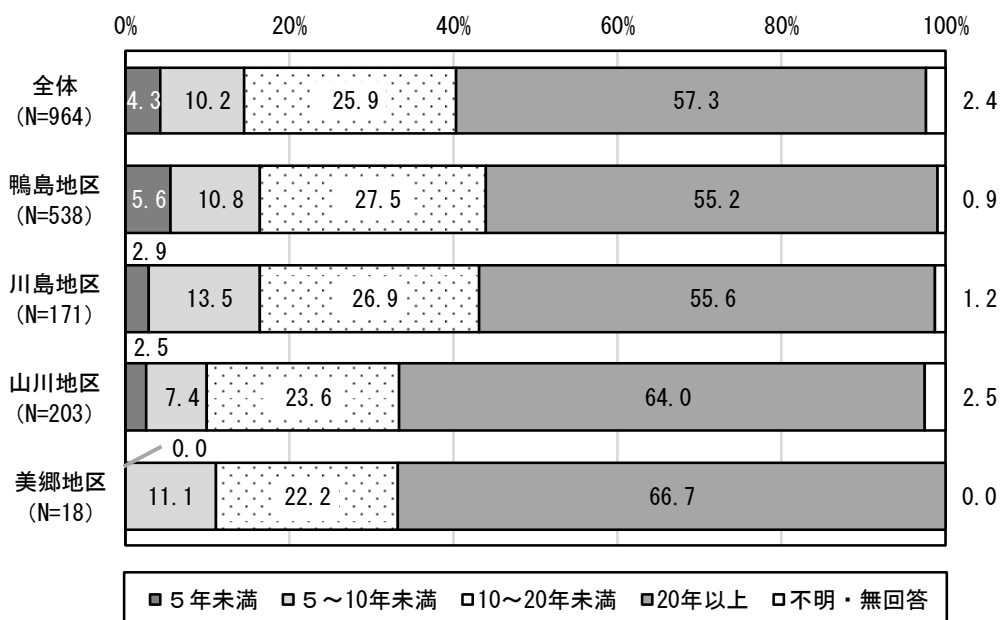
「鴨島地区」が55.8%と最も多く、次いで「山川地区」が21.1%、「川島地区」が17.7%となっています。



問2 あなたは吉野川市（旧町村を含む）に暮らして何年ですか。（1つだけ○）

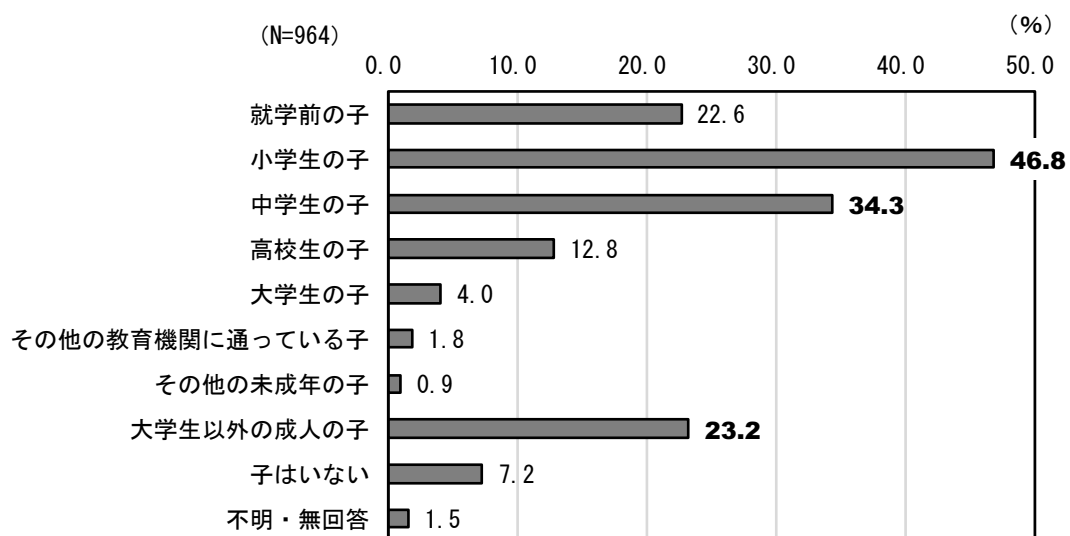
全体では、「20年以上」が57.3%と最も多く、次いで「10～20年未満」が25.9%、「5～10年未満」が10.2%となっています。

地区別では、「山川地区」と「美郷地区」で、居住年数が10年以上の人の割合が多くなっています。



問3 あなたにはお子さんはいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

「小学生の子」が46.8%と最も多く、次いで「中学生の子」が34.3%、「大学生以外の成人の子」が23.2%となっています。「子はいない」は7.2%でした。



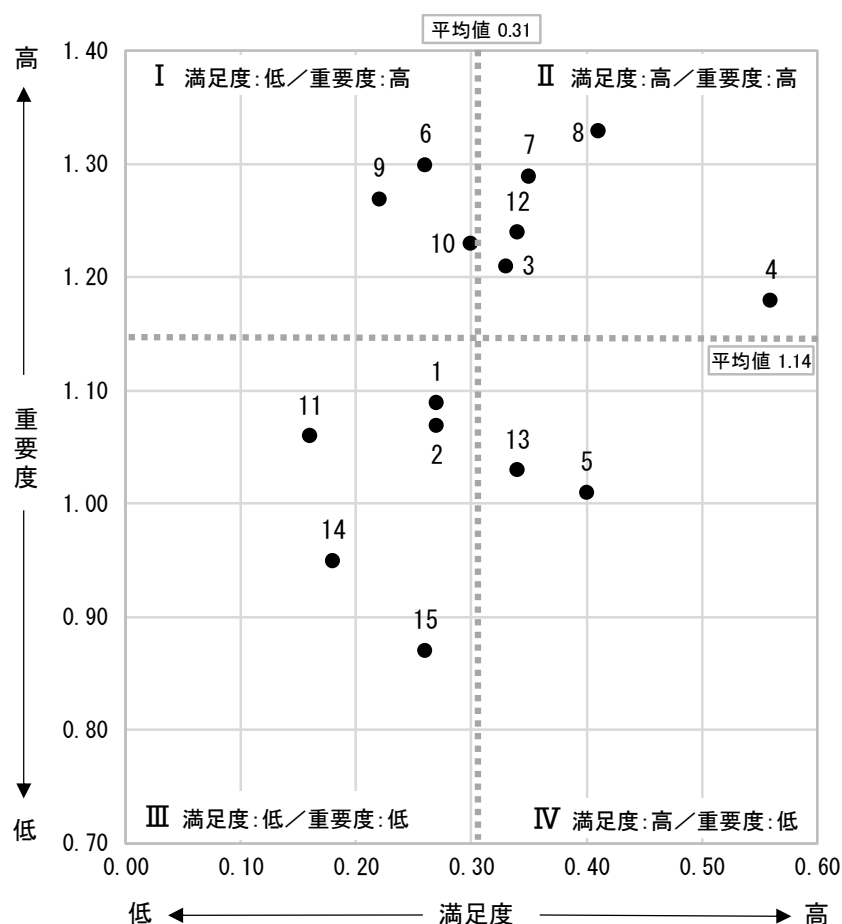
2. 本市の教育施策について

問4、問5 吉野川市における教育施策について、あなたの『満足度』と『重要度』は次のどれにあてはまりますか。（それぞれの項目に1つずつ○）

満足度については、「4 幼稚園・認定こども園の子育て支援の充実」が点数※0.56と最も高く、次いで「8 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成」が0.41、「5 新たな幼児教育体制の推進」が0.40となっています。

重要度については、「8 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成」が1.33と最も高く、次いで「6 自己実現を図るための確かな学力の育成」が1.30、「7 豊かな人間性の基礎となる心の育成」が1.29となっています。

※各項目に対する回答について、「満足」を2点、「やや満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として合計し、回答者数で割ったもの。



項 目
1 「家庭の教育力」の理解促進と向上支援
2 家庭教育に関する相談機能の充実
3 幼児教育の質の向上
4 幼稚園・認定こども園の子育て支援の充実
5 新たな幼児教育体制の推進
6 自己実現を図るための確かな学力の育成
7 豊かな人間性の基礎となる心の育成

8 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成
9 未来を切り拓く力の育成
10 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進
11 市民に信頼される、よりよい教育環境の推進
12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実
13 人権教育と生涯学習環境の充実
14 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実
15 芸術文化の振興と郷土文化の継承

＜項目別の点数＞

番号	項目	満足度	重要度	タイプ
1	「家庭の教育力」の理解促進と向上支援	0.27	1.09	Ⅲ（重要度：低／満足度：低）
2	家庭教育に関する相談機能の充実	0.27	1.07	Ⅲ（重要度：低／満足度：低）
3	幼児教育の質の向上	0.33	1.21	Ⅱ（重要度：高／満足度：高）
4	幼稚園・認定こども園の子育て支援の充実	0.56	1.18	Ⅱ（重要度：高／満足度：高）
5	新たな幼児教育体制の推進	0.40	1.01	Ⅳ（重要度：低／満足度：高）
6	自己実現を図るための確かな学力の育成	0.26	1.30	Ⅰ（重要度：高／満足度：低）
7	豊かな人間性の基礎となる心の育成	0.35	1.29	Ⅱ（重要度：高／満足度：高）
8	心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成	0.41	1.33	Ⅱ（重要度：高／満足度：高）
9	未来を切り拓く力の育成	0.22	1.27	Ⅰ（重要度：高／満足度：低）
10	個別の教育的ニーズに応じた教育の推進	0.30	1.23	Ⅰ（重要度：高／満足度：低）
11	市民に信頼される、よりよい教育環境の推進	0.16	1.06	Ⅲ（重要度：低／満足度：低）
12	子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実	0.34	1.24	Ⅱ（重要度：高／満足度：高）
13	人権教育と生涯学習環境の充実	0.34	1.03	Ⅳ（重要度：低／満足度：高）
14	市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	0.18	0.95	Ⅲ（重要度：低／満足度：低）
15	芸術文化の振興と郷土文化の継承	0.26	0.87	Ⅲ（重要度：低／満足度：低）
平均		0.31	1.14	

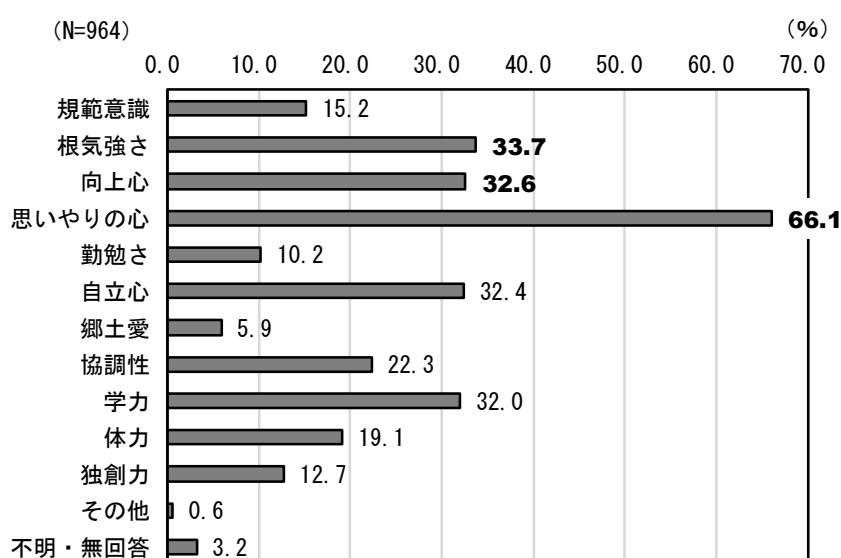
濃く塗った枠は、平均点以上のもの

3. 本市の子どもについて

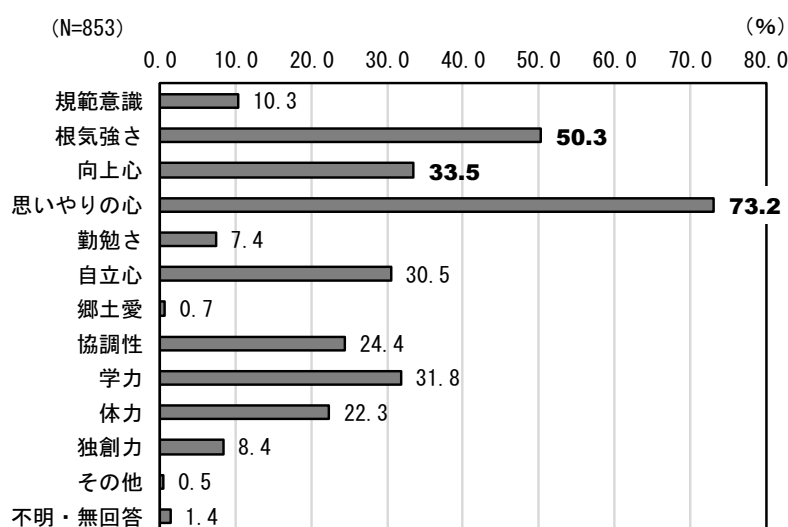
問6 吉野川市の子どもやあなたのお子さんには、どのような点が特に伸びてほしいと思っていますか。（主なもの3つまで○）

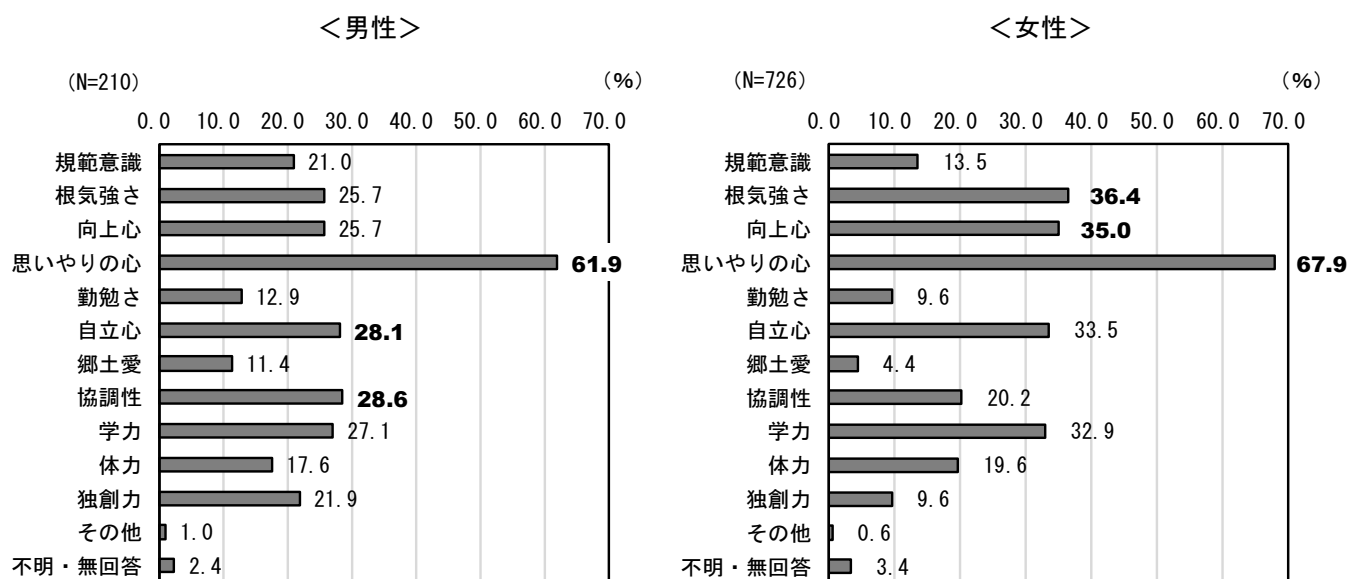
「思いやりの心」が66.1%と最も多く、次いで「根気強さ」が33.7%、「向上心」が32.6%となっています。

男女別では、男性は「思いやりの心」が61.9%と最も多く、次いで「協調性」が28.6%、「自立心」が28.1%となっています。女性は「思いやりの心」が67.9%と最も多く、次いで「根気強さ」が36.4%、「向上心」が35.0%となっています。



【前回調査（平成20年度実施）の結果】

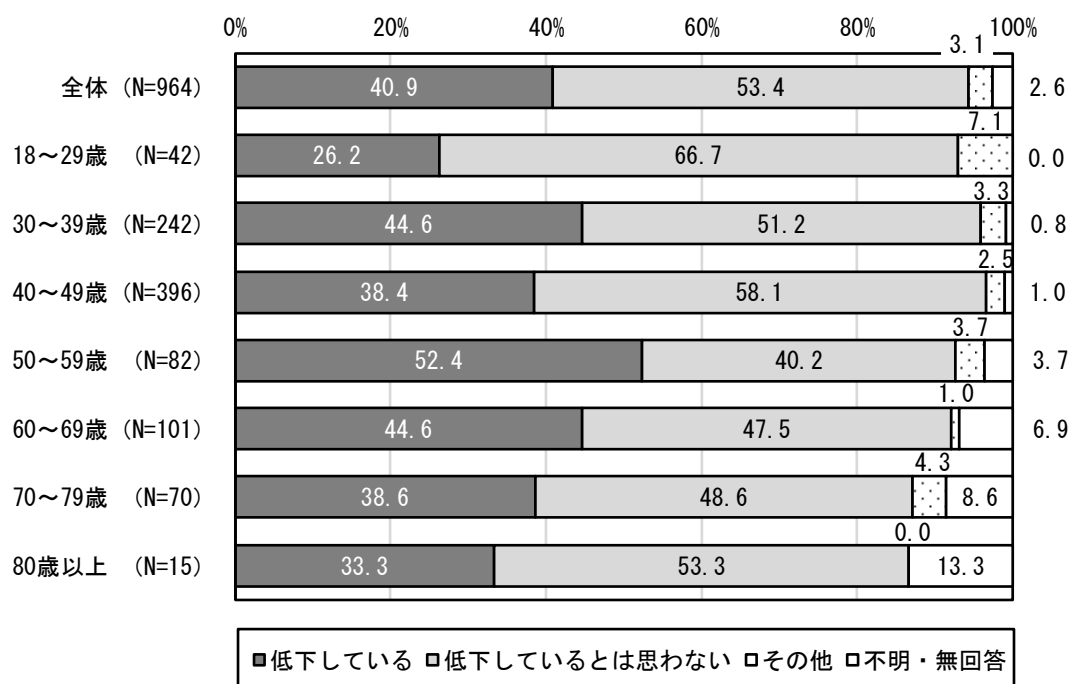




問7 吉野川市の子どもやあなたのお子さんの、道徳心や公共心について、どうお考えですか。(1つだけ○)

全体では、「低下しているとは思わない」が53.4%と最も多く、次いで「低下している」が40.9%、「その他」が3.1%となっています。

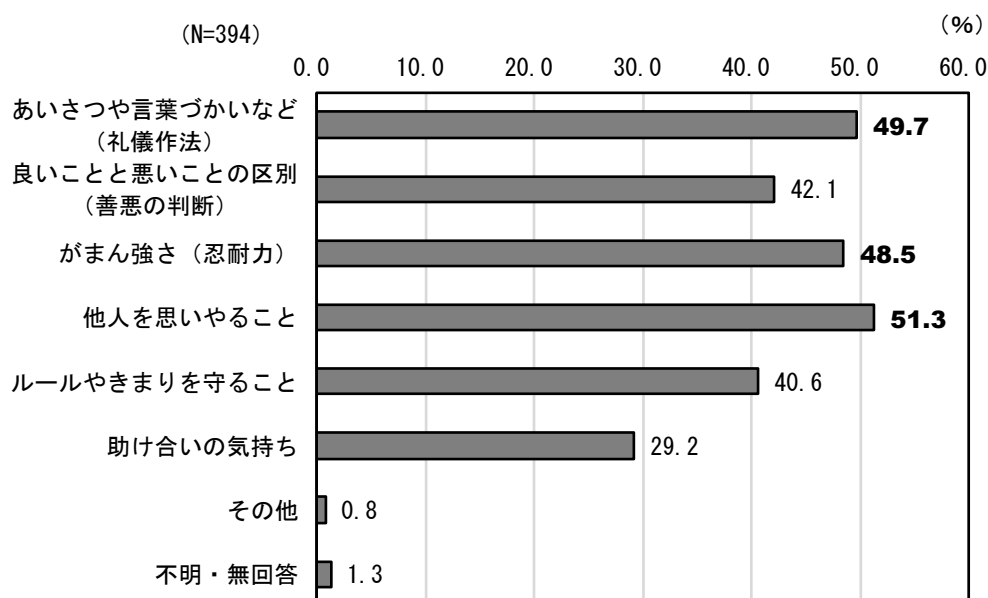
年齢別では、50～59歳で「低下している」が52.4%と最も多く、半数を上回っています。



問7で「1. 低下している」を選んだ人にお聞きします。

問7（1） どんなところが低下していると思いますか。（主なもの3つまで○）

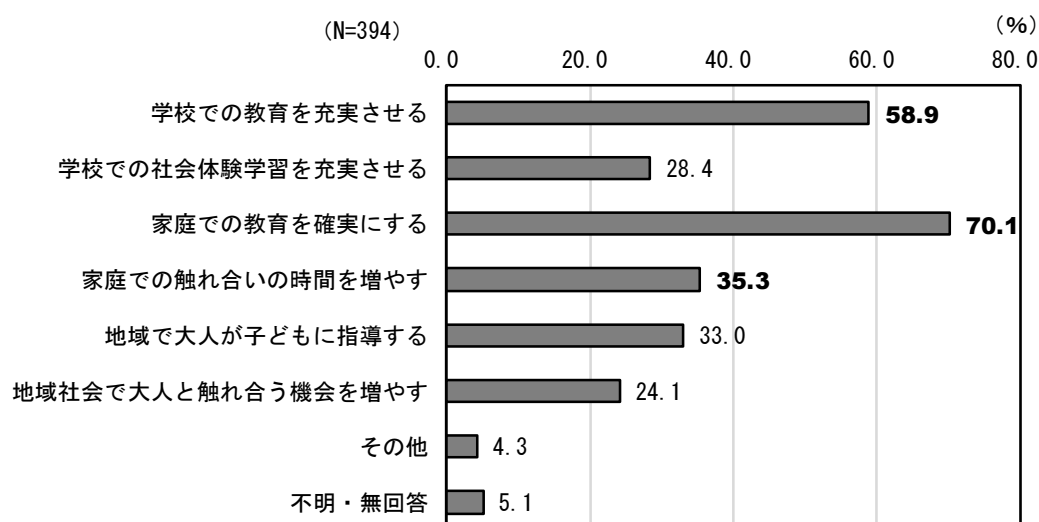
「他人を思いやること」が51.3%と最も多く、次いで「あいさつや言葉づかいなど（礼儀作法）」が49.7%、「がまん強さ（忍耐力）」が48.5%となっています。



問7で「1. 低下している」を選んだ人にお聞きします。

問7（2） 問7（1）で選んだことを育成するには、どうしたらよいと思いますか。
（主なもの3つまで○）

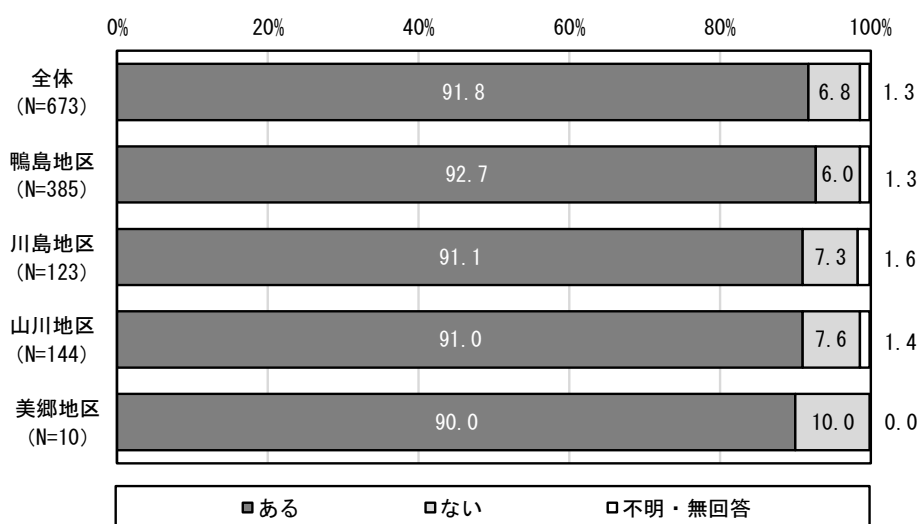
「家庭での教育を確実にする」が70.1%と最も多く、次いで「学校での教育を充実させる」が58.9%、「家庭での触れ合いの時間を増やす」が35.3%となっています。



問3で「1. 就学前の子」、「2. 小学生の子」、「3. 中学生の子」、「4. 高校生の子」のいずれかを選んだ人にお聞きします。

問8 お子さんがインターネット接続している情報機器※を使える環境がありますか。
(1つだけ○)

全体で「ある」が91.8%とほとんどを占めています。地区ごとの大きな差異はみられませんでした。

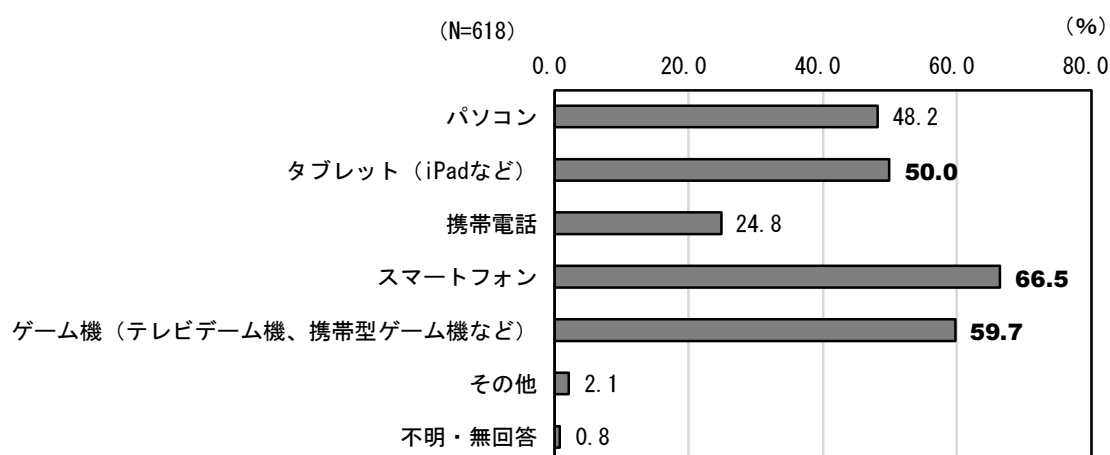


※情報機器：パソコン、タブレット（iPad など）、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機（テレビゲーム機、携帯型ゲーム機）などのこと。

問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8（1） それはどのような機器ですか。（あてはまるものすべてに○）

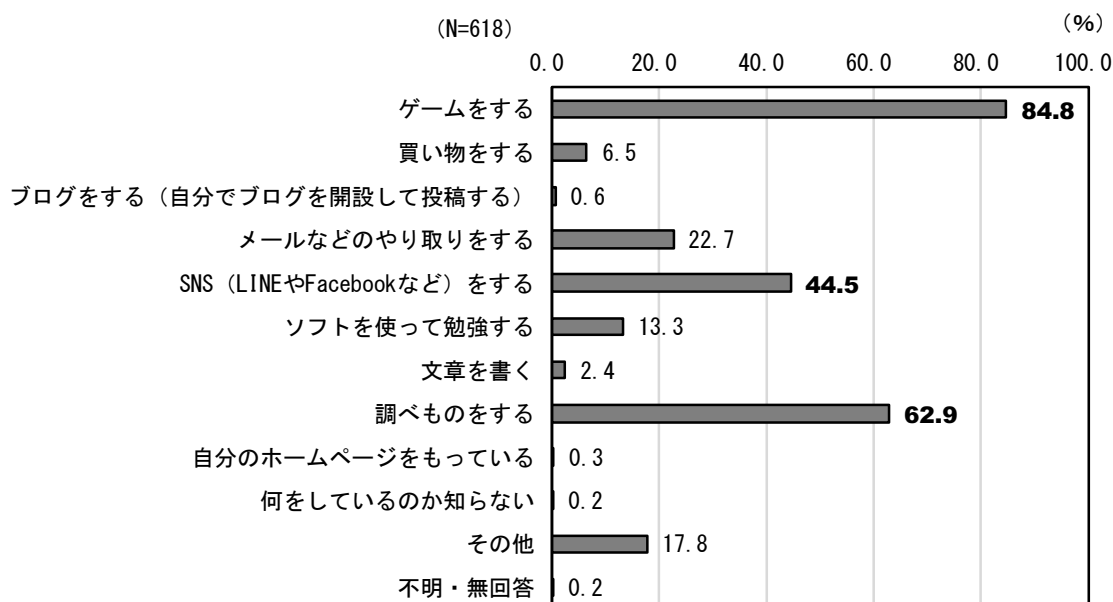
「スマートフォン」が66.5%と最も多く、次いで「ゲーム機（テレビゲーム機、携帯型ゲーム機など）」が59.7%、「タブレット（iPad など）」が50.0%となっています。



問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8（2） お子さんは情報機器を使って何をしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

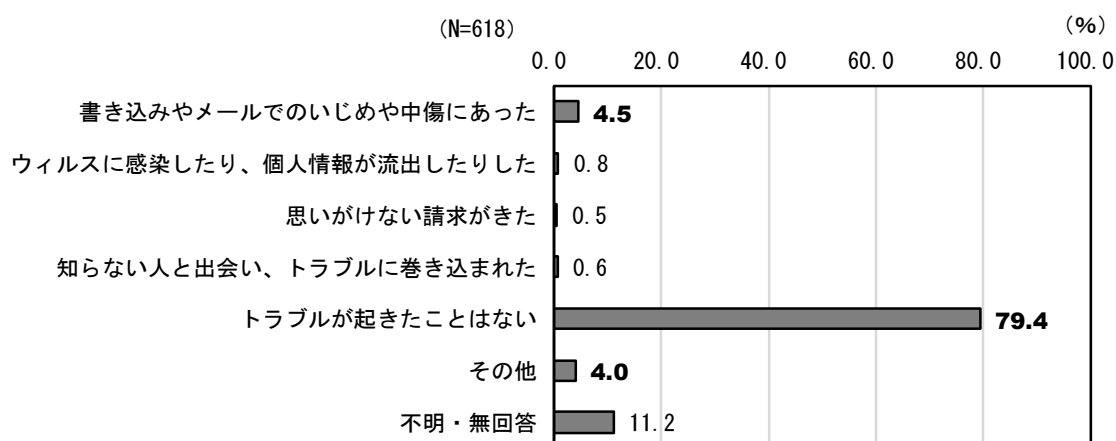
「ゲームをする」が84.8%と最も多く、次いで「調べものをする」が62.9%、「SNSをする（LINEやFacebookなど）」が44.5%となっています。



問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8（3） お子さんがメールや情報機器の通信機能を使用したことにより、トラブルが起きたことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「トラブルが起きたことはない」が79.4%と最も多く、次いで「書き込みやメールでのいじめや中傷にあった」が4.5%、「その他」が4.0%となっています。

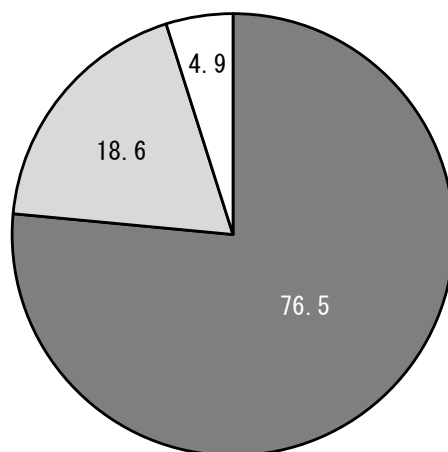


問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8（4） 通信機器を使うに当たって、お子さんと家庭内のルールを決めていますか。
（1つだけ○）

「決めている」が76.5%、「決めていない」が18.6%となっています。

(N=618) (%)

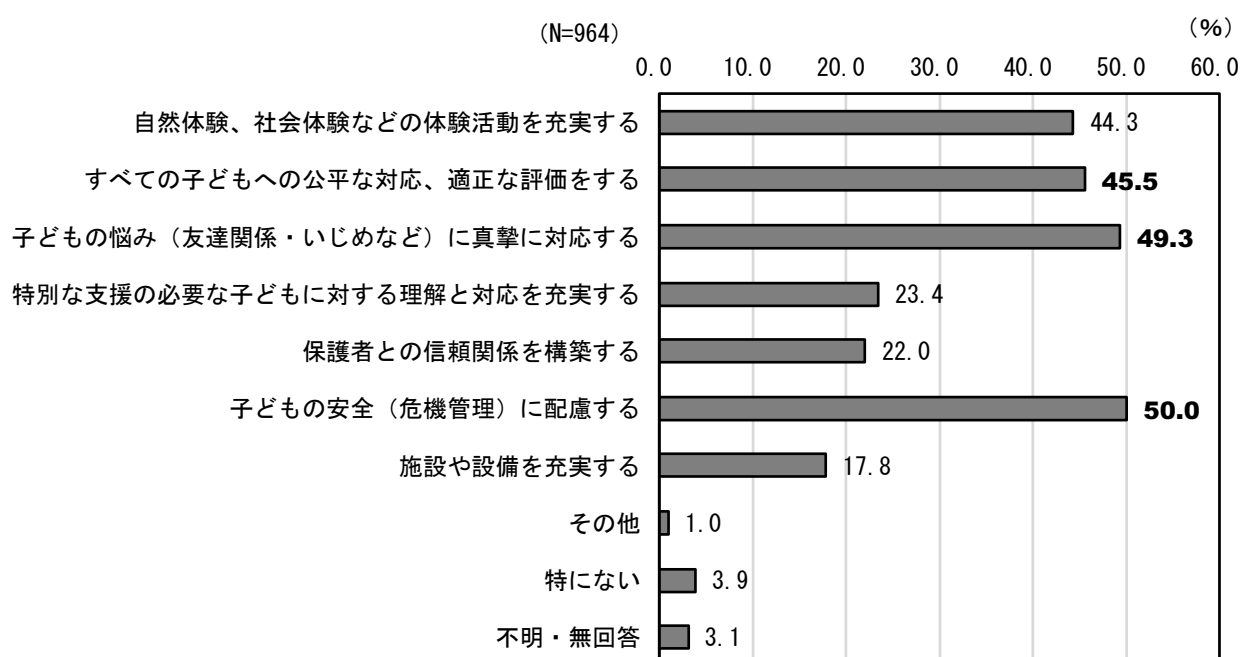


■決めている □決めていない □不明・無回答

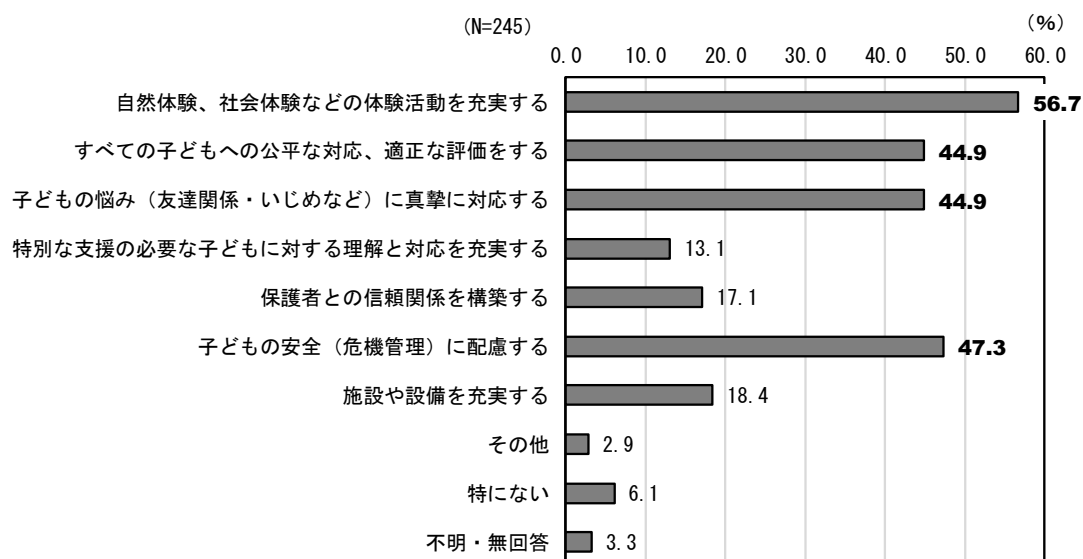
4. 教育について

問9 吉野川市の幼稚園・認定こども園の指導や教育環境について期待することは何ですか。（主なもの3つまで○）

「子どもの安全（危機管理）に配慮する」が50.0%と最も多く、次いで「子どもの悩み（友達関係・いじめなど）に真摯に対応する」が49.3%、「すべての子どもへの公平な対応、適正な評価をする」が45.5%となっています。

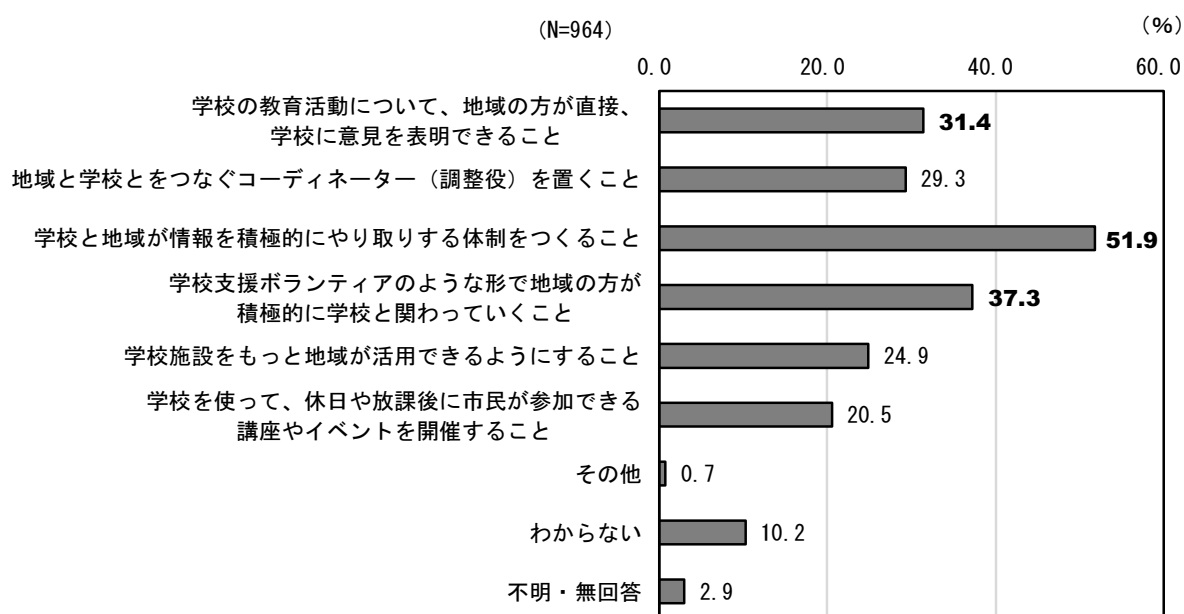


【前回調査の結果】



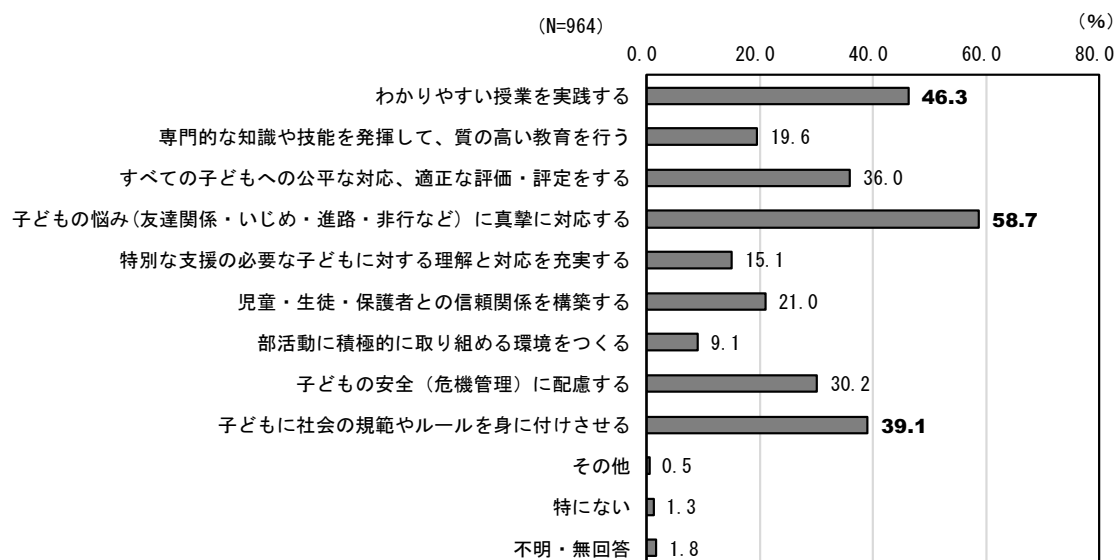
問 10 地域に開かれた学校づくりや地域と学校が一緒に子どもたちを育てていく上で、
どのようなことが重要だと考えますか。（主なもの3つまで○）

「学校と地域が情報を積極的にやり取りする体制をつくること」が51.9%と最も多く、次いで「学校支援ボランティアのような形で地域の方が積極的に学校と関わっていくこと」が37.3%、「学校の教育活動について、地域の方が直接、学校に意見を表明できること」が31.4%となっています。



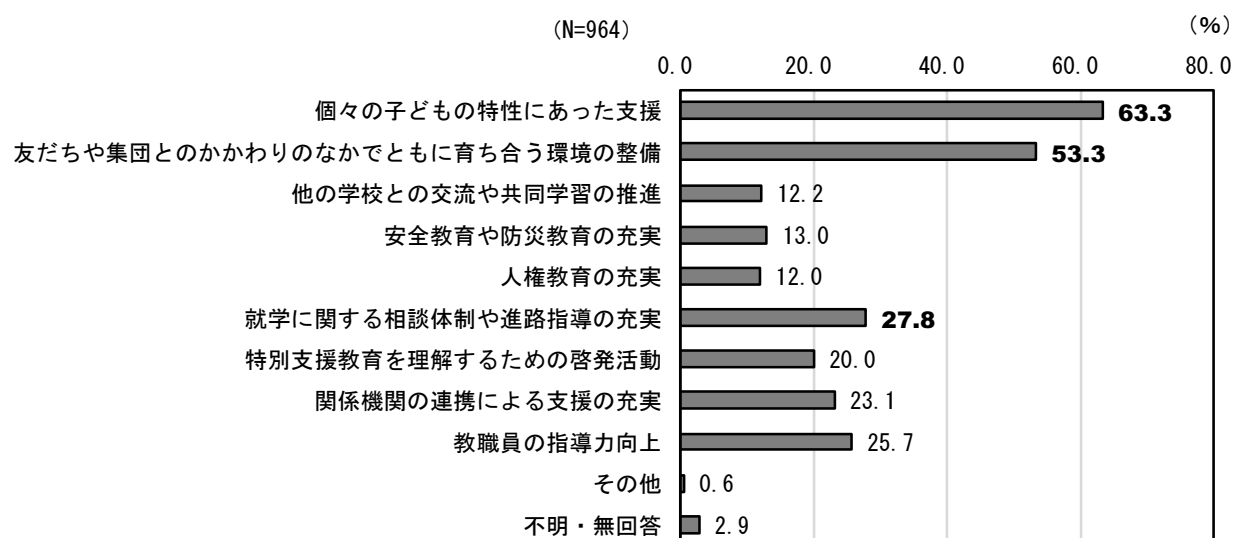
問 11 吉野川市の小・中学校の指導や教育環境について期待することは何ですか。
（主なもの3つまで○）

「子どもの悩み(友達関係・いじめ・進路・非行など)に真摯に対応する」が58.7%と最も多く、次いで「わかりやすい授業を実践する」が46.3%、「子どもに社会の規範やルールを身に付けさせる」が39.1%となっています。



問 12 特別支援教育について、吉野川市として取り組むべきことは何だと思えますか。
(主なもの3つまで○)

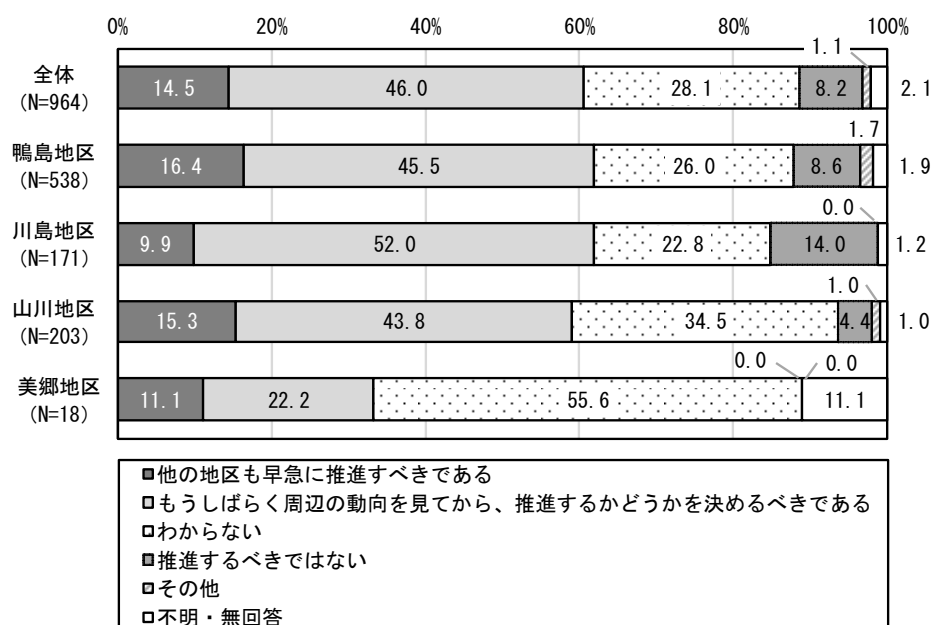
「個々の子どもの特性にあった支援」が63.3%と最も多く、次いで「友だちや集団とののかかわりのなかでともに育ち合う環境の整備」が53.3%、「就学に関する相談体制や進路指導の充実」が27.8%となっています。



問 13 吉野川市における学校再編について、どうお考えですか。(1つだけ○)

全体では、「もう少しばらく周辺の動向を見てから、推進するかどうかを決めるべきである」(慎重派)が46.0%と最も多く、次いで「わからない」が28.1%、「他の地区も早急に推進すべきである」(推進派)が14.5%となっています。

地区別では、川島地区で慎重派が半数を上回っており、「推進すべきではない」も他地区より多くなっています。山川地区では「推進するべきではない」が他地区より少なくなっています。美郷地区では「わからない」が半数を上回っています。



5. 教育における家庭・学校・地域の役割について

問 14 子どもたちが健やかに育つには、主にどこでの役割が重要だと思いますか。

各項目で最も重要な役割だと思うものに「◎」、次いで重要な役割だと思うものに「○」をつけてください。

最も重要な役割だと思うものでは、「社会のマナーやルールを教える」「思いやりや自他を大切に
する心を育てる」「規則正しい生活習慣を身に付けさせる」「健康に配慮した食生活を身に付け
させる」「将来の進路や働くことへの意識を持たせる」「生まれ育った地域を愛する心を育てる」
「自然を大切にすることを育てる」「自発的に行動する意欲を育てる」の8項目で、「家庭・保護者」
が最も多くなっています。

「学力の基礎・基本を身に付けさせる」「社会に貢献しようとする心を育てる」「表現力やコミュ
ニケーション力を伸ばす」「運動能力や体力を向上させる」「他国の文化を大切にすることを育てる」
「物事を論理的に考える力を育てる」の6項目で、「幼稚園・認定こども園・学校」が最も多くな
っています。

	(%)			
	最も重要だと思う			
(N=964)	家庭・ 保護者	幼稚園・ 認定こど も園・ 学校	地域	不明・ 無回答
1 学力の基礎・基本を身に付けさせる	17.4	71.5	0.0	11.1
2 社会のマナーやルールを教える	72.4	12.9	0.6	14.1
3 思いやりや自他を大切にすることを育てる	65.4	20.0	0.3	14.3
4 社会に貢献しようとする心を育てる	29.4	44.8	7.8	18.0
5 表現力やコミュニケーション力を伸ばす	16.8	65.7	0.8	16.7
6 運動能力や体力を向上させる	10.2	69.6	3.8	16.4
7 規則正しい生活習慣を身に付けさせる	82.6	3.9	0.0	13.5
8 健康に配慮した食生活を身に付けさせる	82.8	3.3	0.0	13.9
9 将来の進路や働くことへの意識を持たせる	43.2	39.3	2.0	15.6
10 他国の文化を大切にすることを育てる	13.9	62.1	6.0	17.9
11 生まれ育った地域を愛する心を育てる	35.9	23.3	23.0	17.7
12 自然を大切にすることを育てる	49.0	24.1	9.5	17.4
13 物事を論理的に考える力を育てる	22.1	61.1	0.4	16.4
14 自発的に行動する意欲を育てる	44.5	37.0	1.3	17.1

濃く塗った枠は、1～14の各項目で最も回答が多かったもの

次いで重要な役割だと思うものでは、「学力の基礎・基本を身に付けさせる」「社会に貢献しようとする心を育てる」「表現力やコミュニケーション力を伸ばす」「運動能力や体力を向上させる」「他国の文化を大切にする心を育てる」「物事を論理的に考える力を育てる」の6項目で、「家庭・保護者」が最も多くなっています。

「社会のマナーやルールを教える」「思いやりや自他を大切にする心を育てる」「規則正しい生活習慣を身に付けさせる」「健康に配慮した食生活を身に付けさせる」「将来の進路や働くことへの意識を持たせる」「生まれ育った地域を愛する心を育てる」「自然を大切にする心を育てる」「自発的に行動する意欲を育てる」の8項目では、「幼稚園・認定こども園・学校」が最も多くなっています。

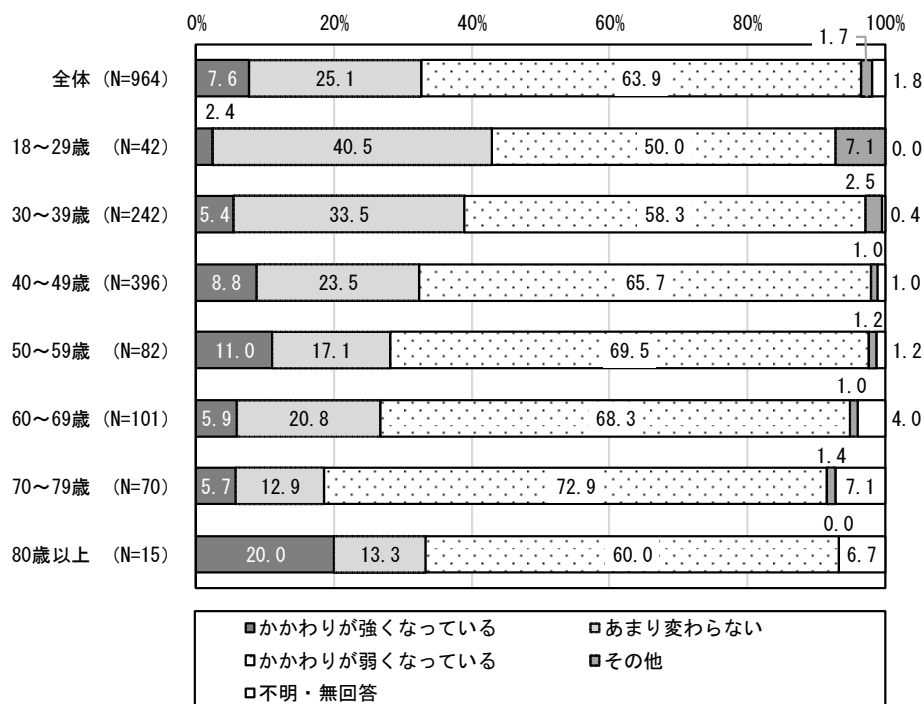
		(%)			
		次いで重要だと思う			
(N=964)		家庭・保護者	幼稚園・認定こども園・学校	地域	不明・無回答
1	学力の基礎・基本を身に付けさせる	67.8	15.9	0.6	15.7
2	社会のマナーやルールを教える	12.7	64.5	5.8	17.0
3	思いやりや自他を大切にする心を育てる	19.7	59.5	3.9	16.8
4	社会に貢献しようとする心を育てる	41.1	29.4	14.4	15.1
5	表現力やコミュニケーション力を伸ばす	56.4	19.3	9.4	14.8
6	運動能力や体力を向上させる	57.7	15.8	12.1	14.4
7	規則正しい生活習慣を身に付けさせる	6.0	77.9	1.0	15.0
8	健康に配慮した食生活を身に付けさせる	6.1	76.6	2.1	15.2
9	将来の進路や働くことへの意識を持たせる	36.0	42.4	7.0	14.6
10	他国の文化を大切にする心を育てる	49.9	20.5	14.6	14.9
11	生まれ育った地域を愛する心を育てる	28.7	36.5	18.0	16.7
12	自然を大切にする心を育てる	24.9	46.3	14.1	14.7
13	物事を論理的に考える力を育てる	58.2	24.1	2.8	14.9
14	自発的に行動する意欲を育てる	34.6	43.8	5.9	15.7

濃く塗った枠は、1～14の各項目で最も回答が多かったもの

問 15 あなたが子どものときに比べ、家庭と地域とのかかわりが変化していると思いますか。(1つだけ○)

全体では、「かかわりが弱くなっている」が 63.9%と最も多く、次いで「あまり変わらない」が 25.1%、「かかわりが強くなっている」が 7.6%となっています。

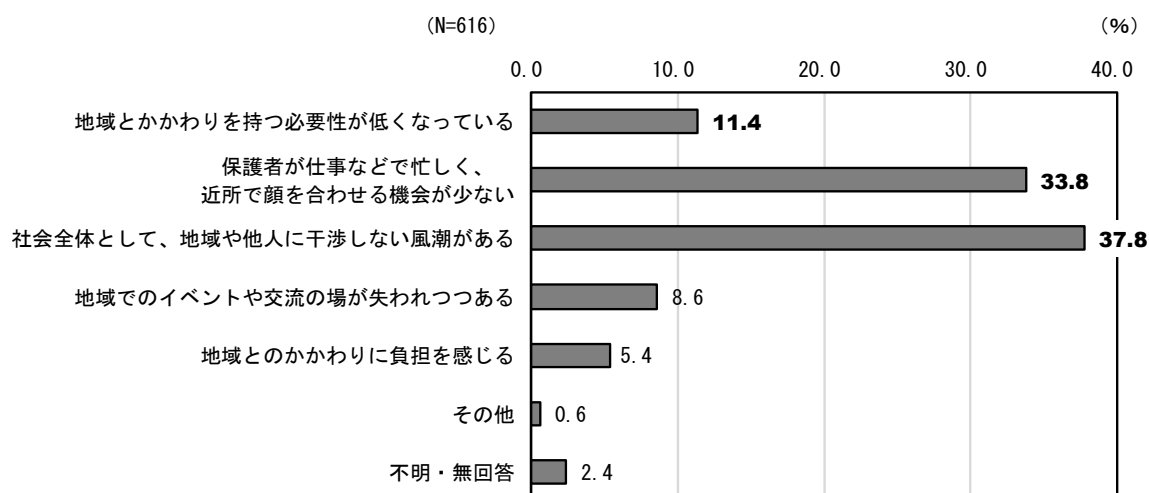
年齢別では、「かかわりが強くなっている」が 50～59 歳と 80 歳以上を除く各年齢で 10%未満となっています。「かかわりが弱くなっている」はすべての年齢層で 50%以上となっており、70～79 歳では 72.9%と最も多くなっています。



問 15 で「3. かかわりが弱くなっている」を選んだ人にお聞きします。

問 15 (1) その原因は何だと思われますか。(1つだけ○)

「社会全体として、地域や他人に干渉しない風潮がある」が 37.8%と最も多く、次いで「保護者が仕事などで忙しく、近所で顔を合わせる機会が少ない」が 33.8%、「地域とかかわりを持つ必要性が低くなっている」が 11.4%となっています。



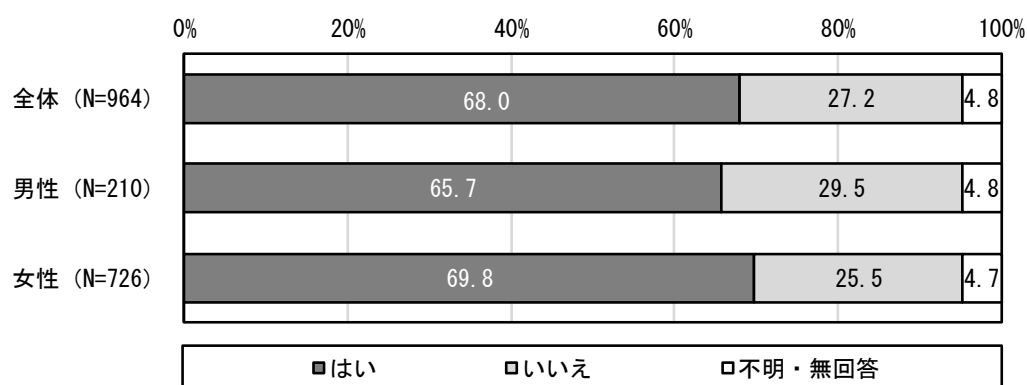
問 16 あなたは、家庭・学校・地域などの教育の場面で、協力できる機会があれば協力したいと思いますか。（1つだけ○）

全体では、「はい」が68.0%、「いいえ」が27.2%となっています。

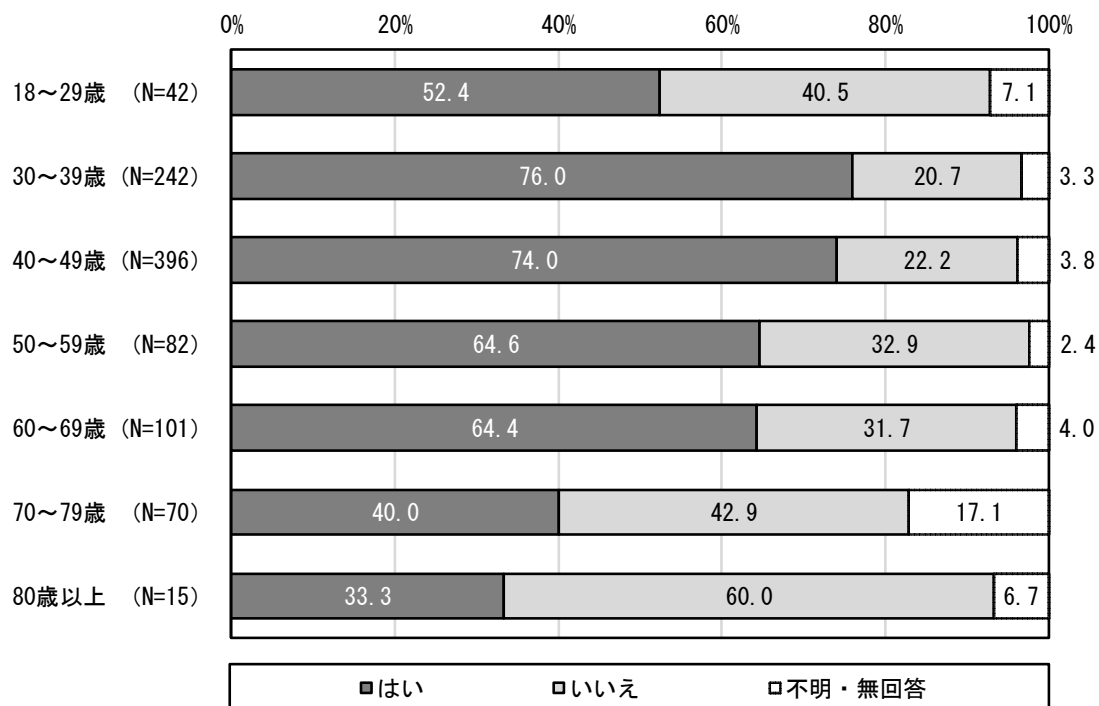
男女別では、男性で「はい」が65.7%、「いいえ」が29.5%、女性で「はい」が69.8%、「いいえ」が25.5%となっています。

年齢別では、30～39歳と40～49歳で「はい」が70%を上回っています。70歳以上では「はい」が40%以下となっています。

<男女別>



<年齢別>



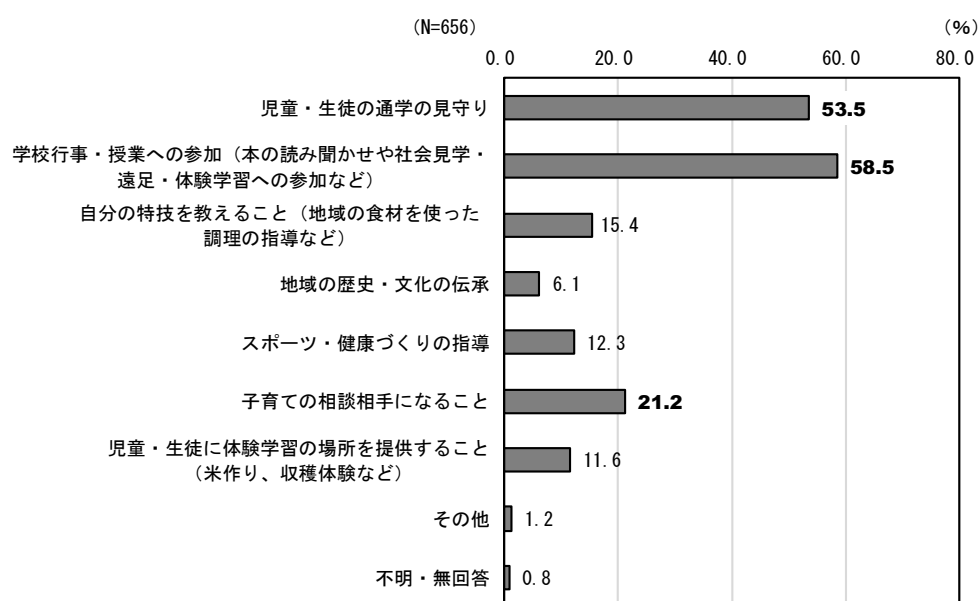
問 16 で「1. はい」を選んだ人にお聞きします。

問 16（１） あなたが教育の場面で協力できること・したいことは次のどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

全体では、「学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習への参加など）」が58.5%と最も多く、次いで「児童・生徒の通学の見守り」が53.5%、「子育ての相談相手になること」が21.2%となっています。

男女別では、男性で「児童・生徒の通学の見守り」が60.9%、女性で「学校行事・授業への参加」が64.1%と、それぞれ最も多くなっています。

年齢別では、18～29 歳と 60 歳以上で「児童・生徒の通学の見守り」が、30～59 歳で「学校行事・授業への参加」が、それぞれ最も多くなっています。



<男女別>

選択肢	(%)	
	男性 (N=138)	女性 (N=507)
児童・生徒の通学の見守り	60.9	51.9
学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習への参加など）	39.1	64.1
自分の特技を教えること（地域の食材を使った調理の指導など）	20.3	14.2
地域の歴史・文化の伝承	12.3	4.3
スポーツ・健康づくりの指導	21.0	9.3
子育ての相談相手になること	11.6	24.1
児童・生徒に体験学習の場所を提供すること（米作り、収穫体験など）	17.4	9.9
その他	0.7	1.4
不明・無回答	2.2	0.4

濃く塗った枠は、男女それぞれで最も回答が多かったもの

＜年齢別＞

	(%)						
選択肢	18～ 29 歳 (N=42)	30～ 39 歳 (N=242)	40～ 49 歳 (N=396)	50～ 59 歳 (N=82)	60～ 69 歳 (N=101)	70～ 79 歳 (N=70)	80 歳 以上 (N=15)
児童・生徒の通学の見守り	54.5	58.2	46.8	43.4	69.2	71.4	80.0
学校行事・授業への参加	40.9	66.8	65.5	50.9	32.3	25.0	20.0
自分の特技を教えること	36.4	12.5	15.0	17.0	15.4	21.4	20.0
地域の歴史・文化の伝承	9.1	5.4	3.8	5.7	10.8	17.9	20.0
スポーツ・健康づくりの指導	22.7	10.9	10.2	20.8	12.3	14.3	0.0
子育ての相談相手になること	18.2	25.0	18.1	18.9	24.6	25.0	0.0
児童・生徒に体験学習の場所を提供すること	22.7	12.0	10.9	3.8	10.8	25.0	0.0
その他	0.0	0.5	1.7	1.9	1.5	0.0	0.0
不明・無回答	4.5	0.0	0.3	3.8	1.5	0.0	0.0

濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

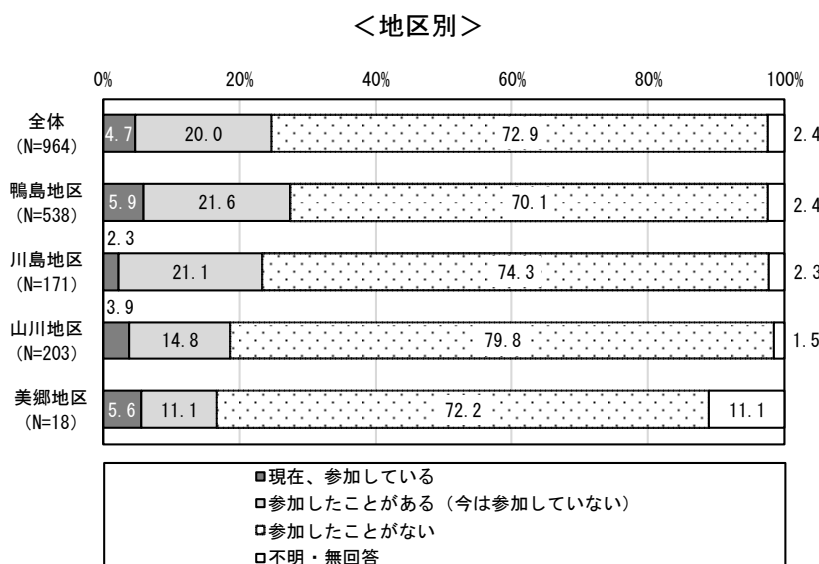
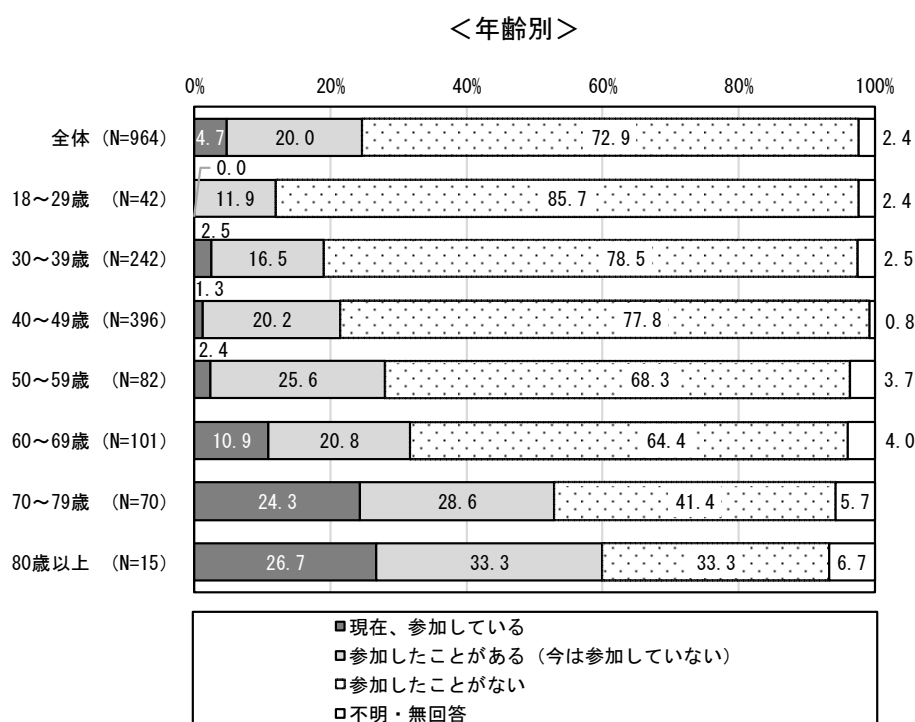
6. 生涯学習について

問 17 あなたは市や公民館で行っている講座に参加したことがありますか。(1つだけ○)

全体では、「参加したことがない」が 72.9%と最も多く、次いで「参加したことがある（今は参加していない）」が 20.0%、「現在、参加している」が 4.7%となっています。「現在、参加している」と「参加したことがある」の合計は 24.7%でした。

年齢別では、多少の変動はあるものの、年齢が上がるほど「現在、参加している」と「参加したことがある」がいずれも多くなる傾向にあります。

地区別では、山川地区、美郷地区で「現在、参加している」と「参加したことがある」を合わせた割合がやや低くなっています。

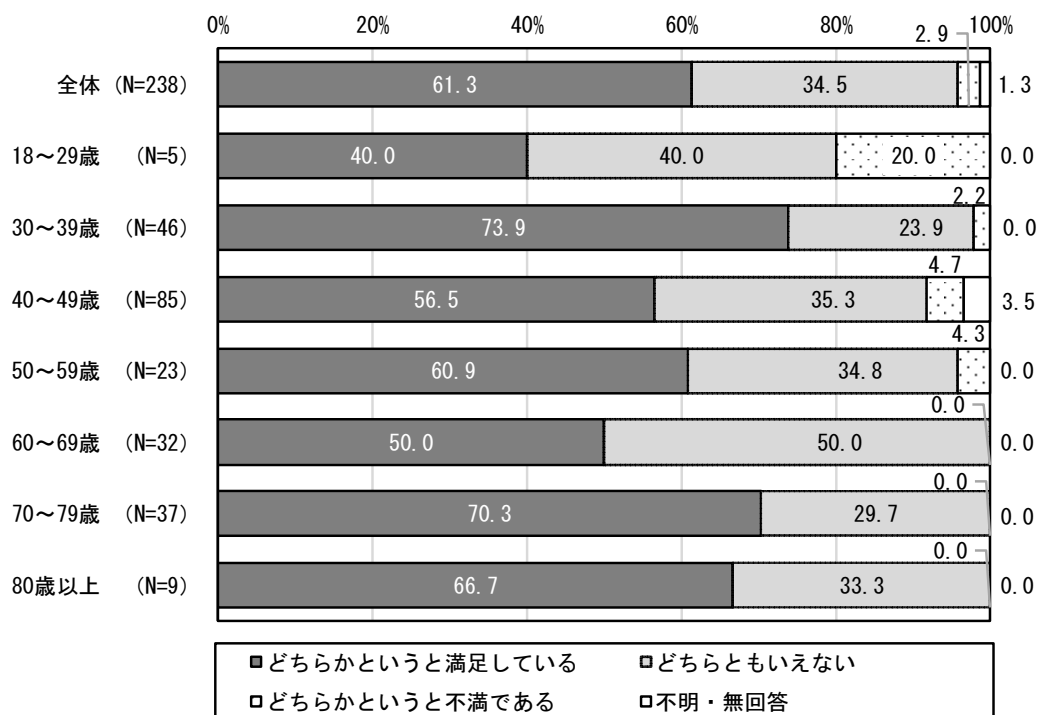


問 17 で「1. 現在、参加している」または「2. 参加したことがある（今は参加していない）」を選んだ人にお聞きします。

問 17（1） 講座に参加してどう思いましたか。（1つだけ○）

全体では、「どちらかという満足している」が 61.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 34.5%、「どちらかという不満である」が 2.9%となっています。

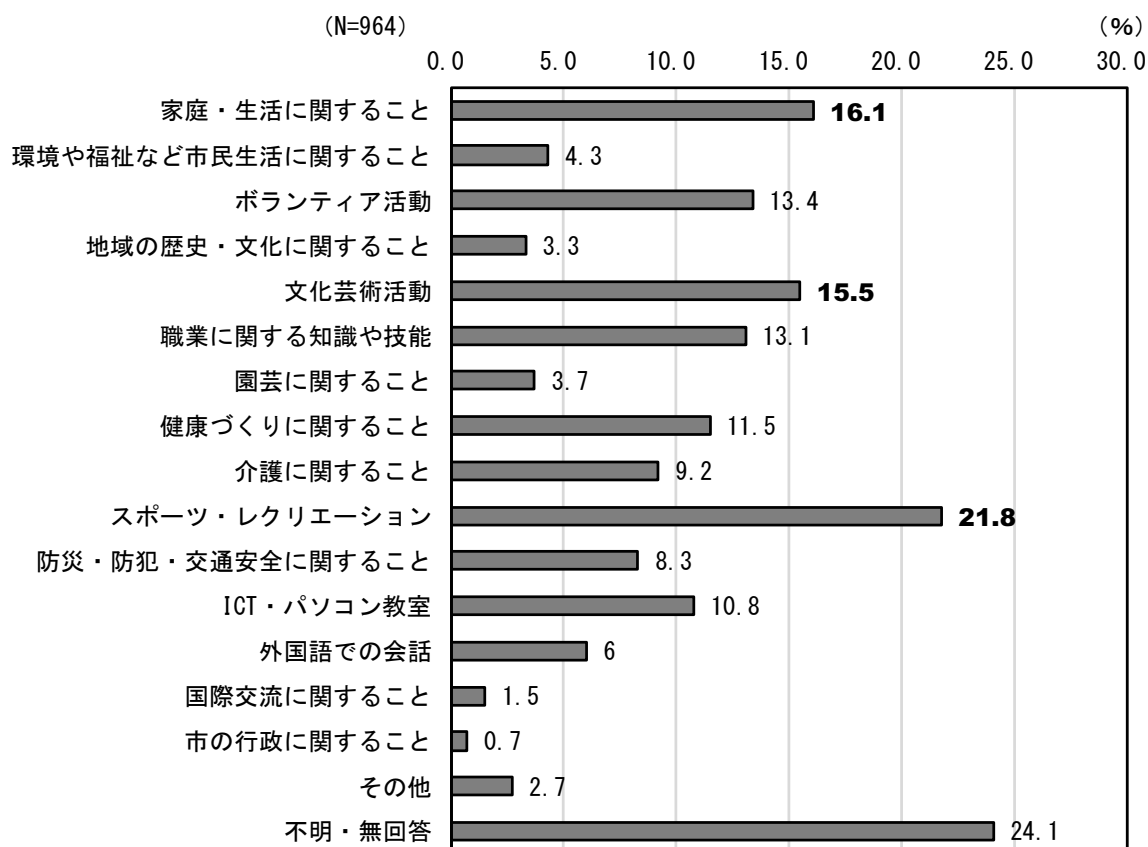
年齢別では、18～29 歳で「どちらかという満足している」が 40.0%と他の年齢層より低く、30～39 歳と 70～79 歳では「どちらかという満足している」が 70%を超えています。



問 18 あなたがこれまでにしたことのある習い事や学習活動の分野は何ですか。
(主なもの3つまで○)

全体では、「スポーツ・レクリエーション」が 21.8%と最も多く、次いで「家庭・生活に関すること」が 16.1%、「文化芸術活動」が 15.5%となっています。

年齢別では、18～59 歳で「スポーツ・レクリエーション」が最も多くなっており、60 歳以上では「健康づくりに関すること」が、それぞれ最も多くなっています。



<年齢別>

（％）

選択肢	18～ 29 歳 (N=42)	30～ 39 歳 (N=242)	40～ 49 歳 (N=396)	50～ 59 歳 (N=82)	60～ 69 歳 (N=101)	70～ 79 歳 (N=70)	80 歳 以上 (N=15)
家庭・生活に関すること	21.4	20.2	15.9	15.9	11.9	8.6	20.0
環境や福祉など市民生活に関すること	11.9	3.3	3.0	3.7	6.9	7.1	6.7
ボランティア活動	19.0	14.5	10.6	14.6	14.9	14.3	33.3
地域の歴史・文化に関すること	14.3	0.8	1.5	1.2	5.9	11.4	20.0
文化芸術活動	16.7	14.0	14.1	13.4	18.8	25.7	26.7
職業に関する知識や技能	9.5	17.8	13.9	12.2	8.9	4.3	13.3
園芸に関すること	0.0	2.1	2.8	4.9	5.9	11.4	13.3
健康づくりに関すること	7.1	5.8	8.6	15.9	19.8	28.6	46.7
介護に関すること	14.3	10.3	8.3	7.3	6.9	14.3	6.7
スポーツ・レクリエーション	28.1	21.9	22.0	19.5	14.9	24.3	6.7
防災・防犯・交通安全に関すること	2.4	5.0	5.8	4.9	18.8	20.0	26.7
ICT・パソコン教室	4.8	9.5	11.9	13.4	13.9	7.1	0.0
外国語での会話	7.1	5.4	7.8	4.9	3.0	5.7	0.0
国際交流に関すること	2.4	2.1	1.5	0.0	0.0	1.4	6.7
市の行政に関すること	0.0	0.0	0.5	3.7	0.0	2.9	0.0
その他	2.4	4.5	2.0	1.2	2.0	4.3	0.0
不明・無回答	11.9	20.7	26.3	29.3	23.8	21.4	13.3

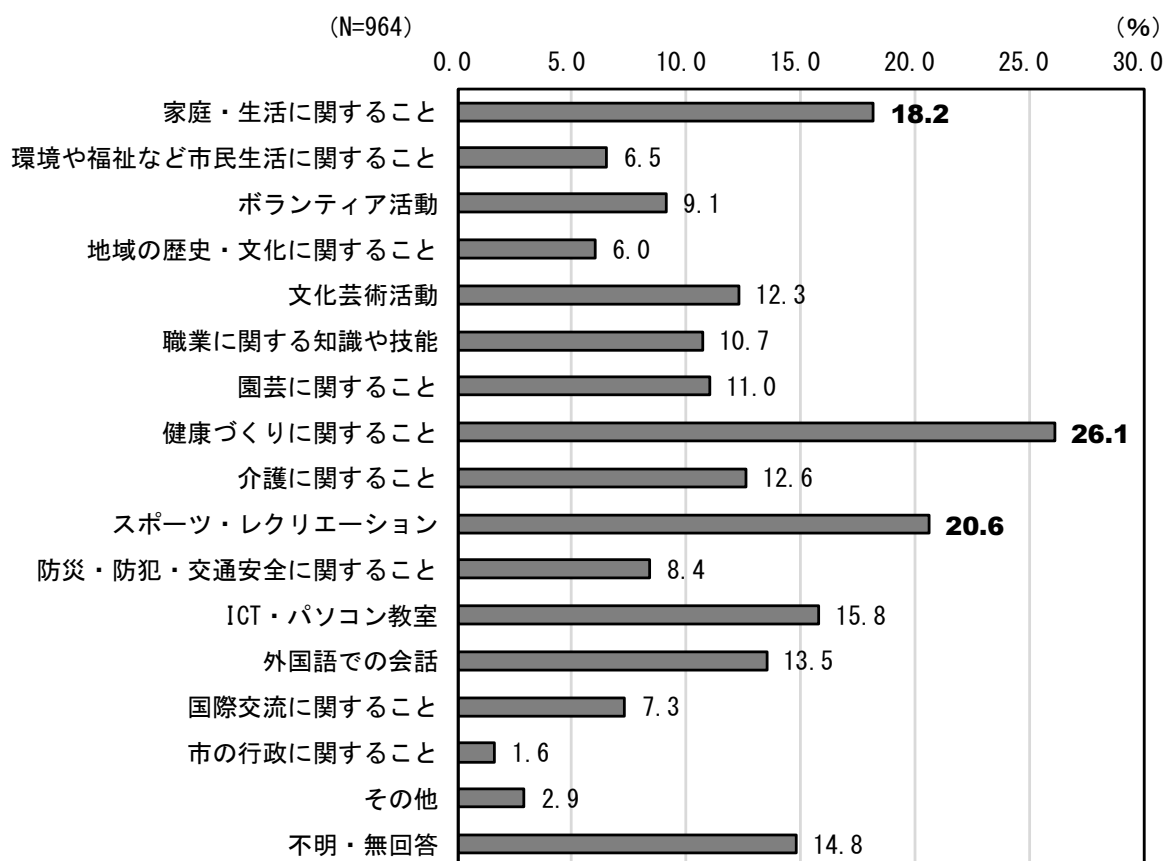
濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問 19 今後、あなたがやってみたい習い事や学習活動の分野は何ですか。

(主なもの3つまで○)

全体では、「健康づくりに関すること」が 26.1%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション」が 20.6%、「家庭・生活に関すること」が 18.2%となっています。

年齢別では、18～29 歳で「家庭・生活に関すること」が、30～39 歳で「スポーツ・レクリエーション」が、40 歳以上で「健康づくりに関すること」が、それぞれ最も多くなっています。



<年齢別>

（％）

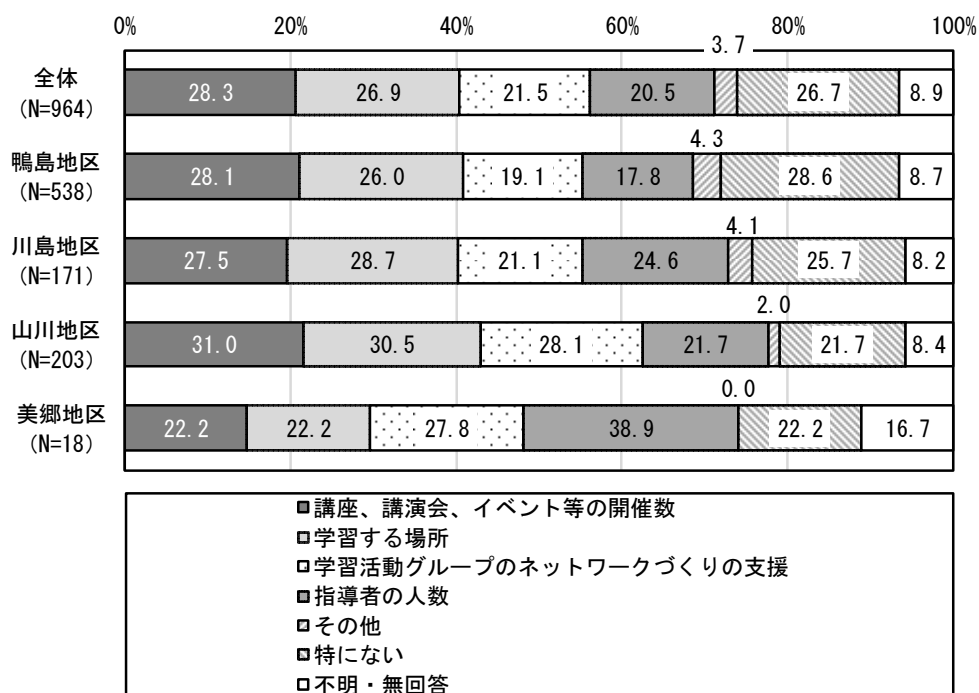
選択肢	18～ 29 歳 (N=42)	30～ 39 歳 (N=242)	40～ 49 歳 (N=396)	50～ 59 歳 (N=82)	60～ 69 歳 (N=101)	70～ 79 歳 (N=70)	80 歳 以上 (N=15)
家庭・生活に関すること	31.0	21.1	17.4	7.3	16.8	17.1	33.3
環境や福祉など市民生活に関すること	7.1	5.0	6.6	6.1	11.9	7.1	0.0
ボランティア活動	19.0	4.1	9.6	8.5	13.9	12.9	6.7
地域の歴史・文化に関すること	4.8	1.7	5.1	9.8	9.9	15.7	20.0
文化芸術活動	11.9	14.5	11.4	8.5	12.9	15.7	13.3
職業に関する知識や技能	14.3	17.8	10.1	6.1	4.0	0.0	6.7
園芸に関すること	11.9	6.6	9.1	12.2	21.8	18.6	26.7
健康づくりに関すること	11.9	22.7	24.2	25.6	30.7	45.7	60.0
介護に関すること	9.5	8.3	8.3	14.6	22.8	34.3	20.0
スポーツ・レクリエーション	19.0	23.1	23.0	24.4	15.8	8.6	6.7
防災・防犯・交通安全に関すること	11.9	9.5	7.1	6.1	10.9	8.6	6.7
ICT・パソコン教室	11.9	18.2	17.7	14.6	11.9	5.7	20.0
外国語での会話	7.1	14.0	17.2	15.9	6.9	2.9	0.0
国際交流に関すること	9.5	4.5	9.8	6.1	7.9	2.9	0.0
市の行政に関すること	2.4	0.8	1.3	1.2	1.0	5.7	0.0
その他	0.0	4.5	1.8	3.7	4.0	2.9	6.7
不明・無回答	7.1	12.0	14.9	22.0	14.9	17.1	6.7

濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問 20 市の生涯学習環境について不足している、あるいは必要であると思うものは何ですか。(主なもの2つまで○)

全体では、「講座、講演会、イベント等の開催数」が28.3%と最も多く、次いで「学習する場所」が26.9%、「特にない」が26.7%となっています。

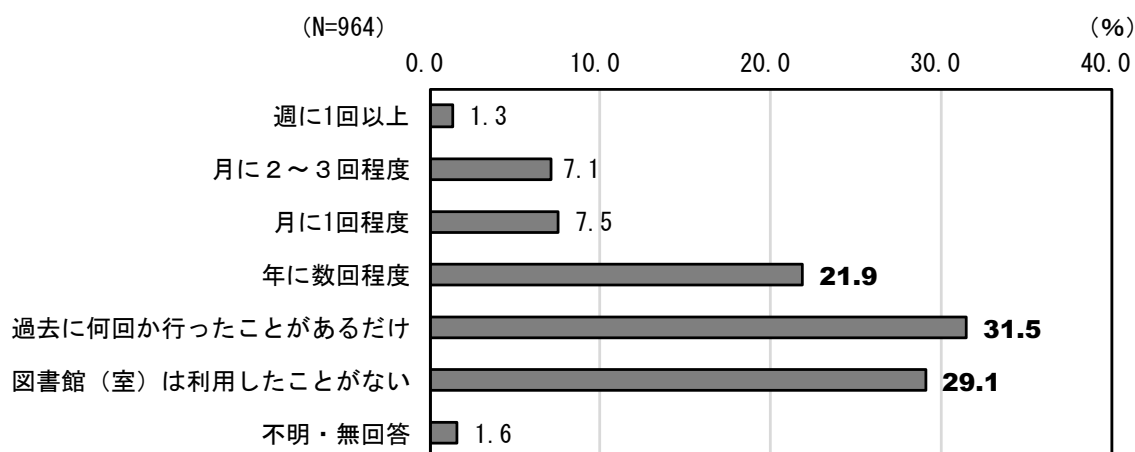
地区別では、美郷地区で「指導者の人数」が38.9%と、他の地域より多くなっています。



7. 市の図書館(室)について

問 21 あなたは市の図書館（室）をどの程度利用していますか。（1つだけ○）

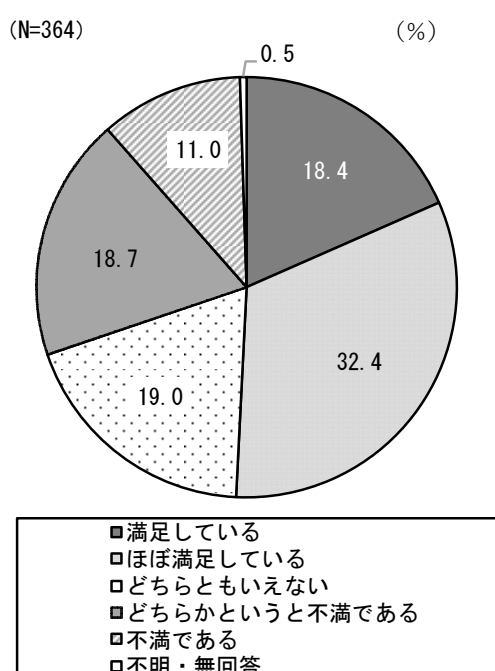
「過去に何回か行ったことがあるだけ」が31.5%と最も多く、次いで「図書館（室）は利用したことがない」が29.1%、「年に数回程度」が21.9%となっています。



問 21 で「1. 週に1回以上」～「4. 年に数回程度」のいずれかを選んだ人（年に数回程度以上、図書館を利用している人）にお聞きします。

問 21（1） あなたは現在の図書館（室）に満足していますか。（1つだけ○）

「ほぼ満足している」が32.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.0%、「どちらかというとな不満である」が18.7%となっています。

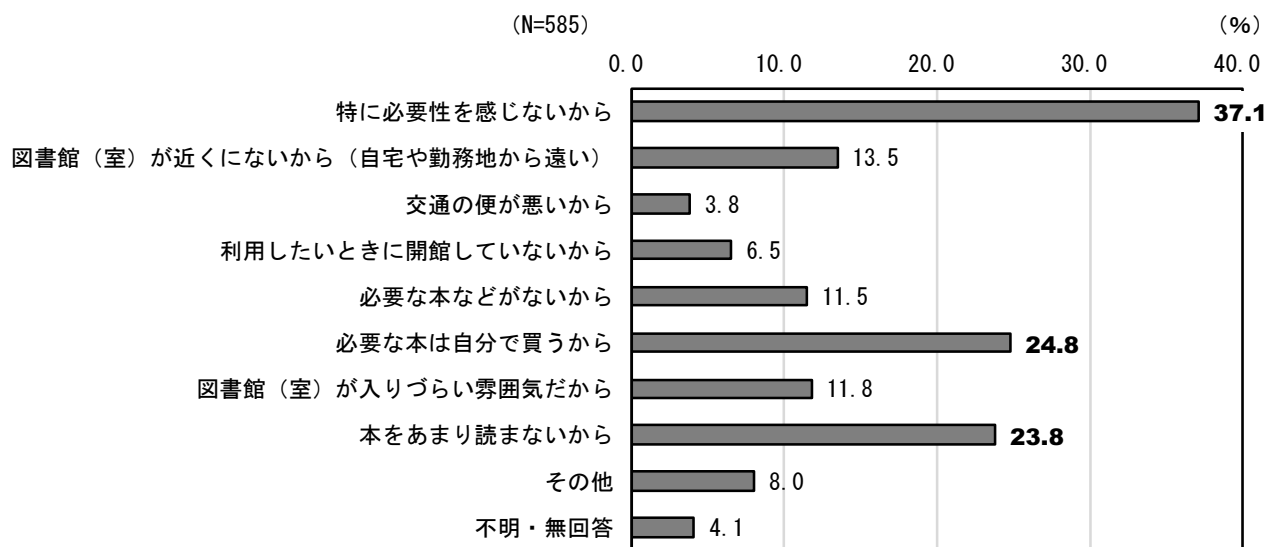


問 21 で「5. 過去に何回か行ったことがあるだけ」または「6. 図書館（室）は利用したことがない」を選んだ人にお聞きします。

問 21（2） 図書館（室）を利用しない理由は何ですか。（主なもの2つまで○）

全体では、「特に必要性を感じないから」が 37.1%と最も多く、次いで「必要な本は自分で買うから」が 24.8%、「本をあまり読まないから」が 23.8%となっています。

年齢別では、18～39 歳で「本をあまり読まないから」が、40～79 歳で「特に必要性を感じないから」が、80 歳以上で「必要な本は自分で買うから」が、それぞれ最も多くなっています。



<年齢別>

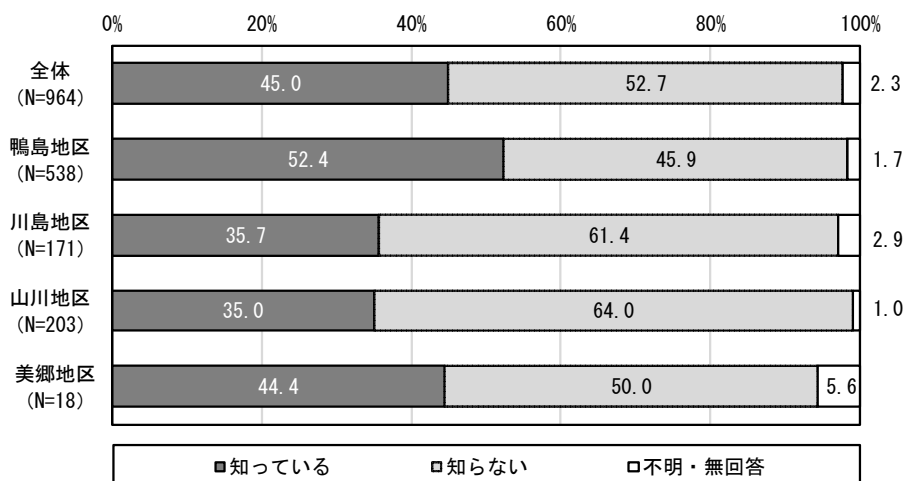
選択肢	年齢別 (%)						
	18～ 29 歳 (N=27)	30～ 39 歳 (N=133)	40～ 49 歳 (N=219)	50～ 59 歳 (N=53)	60～ 69 歳 (N=74)	70～ 79 歳 (N=61)	80 歳 以上 (N=10)
特に必要性を感じないから	25.9	26.1	28.8	52.8	48.6	49.2	20.0
図書館（室）が近くにないから （自宅や勤務地から遠い）	18.5	14.3	13.2	5.7	16.2	16.4	10.0
交通の便が悪いから	11.1	2.3	4.6	0.0	5.4	6.6	10.0
利用したいときに開館していないから	0.0	3.0	7.8	7.5	6.8	8.2	0.0
必要な本などがないから	18.5	10.5	10.5	17.0	5.4	14.8	10.0
必要な本は自分で買うから	11.1	21.8	24.2	28.3	25.7	31.1	30.0
図書館（室）が入りづらい雰囲気だから	18.5	9.8	14.2	13.2	4.1	13.1	0.0
本をあまり読まないから	29.6	30.8	21.5	17.0	25.7	18.0	20.0
その他	7.4	7.5	11.0	3.8	8.1	1.6	20.0
不明・無回答	0.0	6.0	3.2	1.9	4.1	4.9	20.0

濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問 22 あなたは麻植協同病院跡地に建設中の多目的交流センター（仮称）内に、図書館ができることを知っていますか。（１つだけ○）

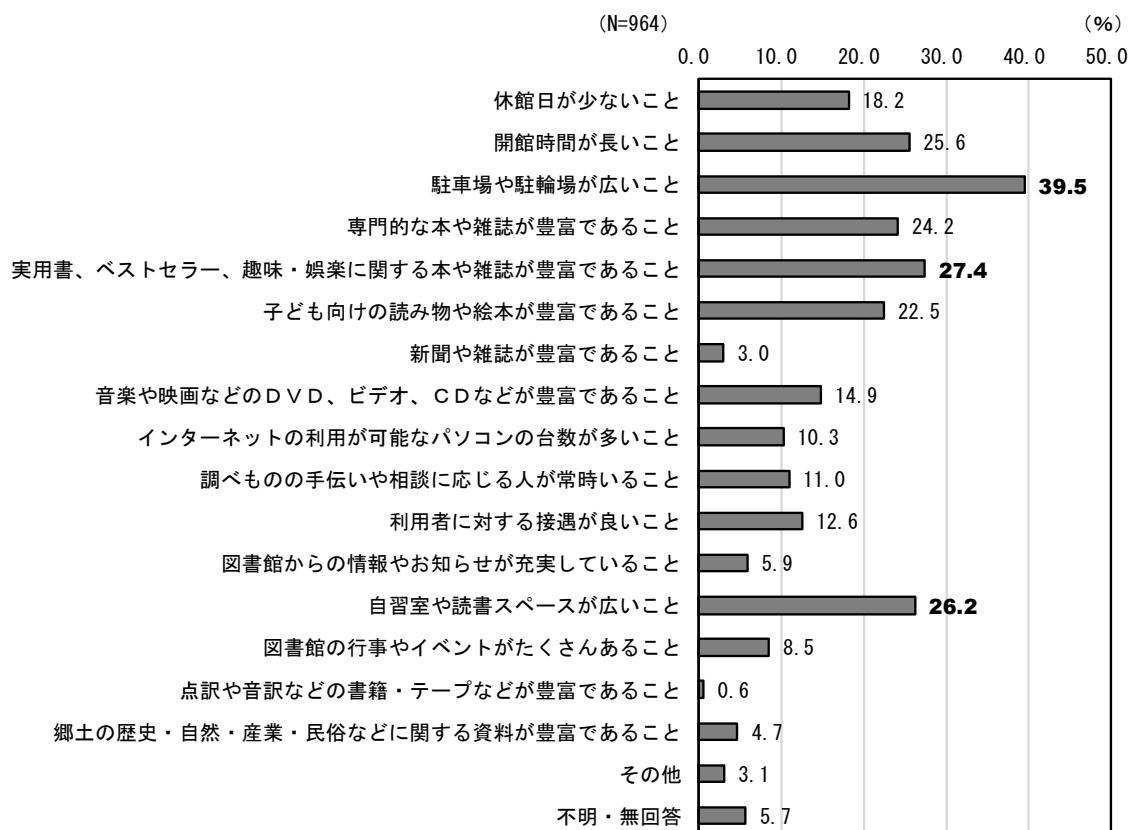
全体では、「知っている」が45.0%、「知らない」が52.7%となっています。

地区別では、鴨島地区で「知っている」が52.4%と半数を上回っていますが、他の地区はいずれも「知っている」が半数未満となっています。



問 23 新しくできる図書館にどのようなことを期待しますか。（主なもの3つまで○）

「駐車場や駐輪場が広いこと」が39.5%と最も多く、次いで「実用書、ベストセラー、趣味・娯楽に関する本や雑誌が豊富であること」が27.4%、「自習室や読書スペースが広いこと」が26.2%となっています。

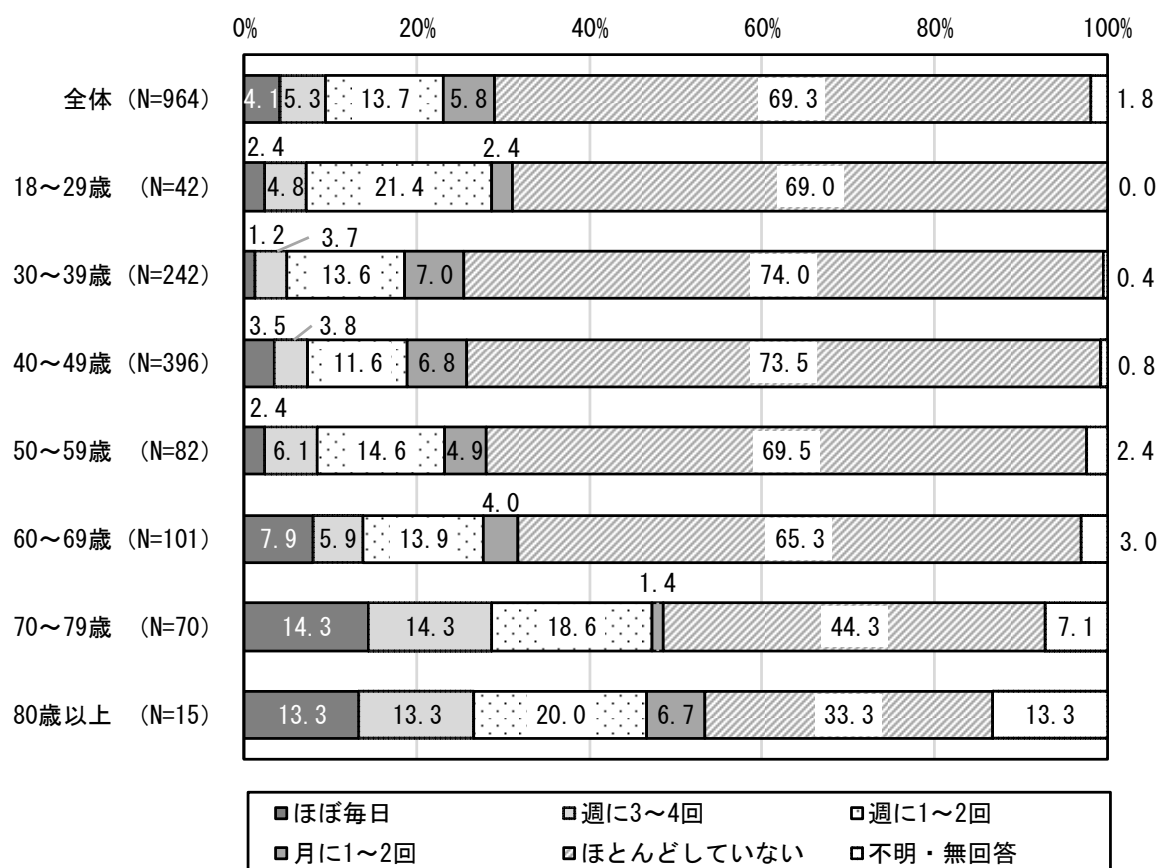


8. 市のスポーツ環境について

問 24 あなたは、この１年間でどの程度、運動やスポーツをしていますか。（１つだけ○）

全体では、「ほとんどしていない」が69.3%と最も多く、次いで「週に１～２回」が13.7%、「月に１～２回」が5.8%となっています。

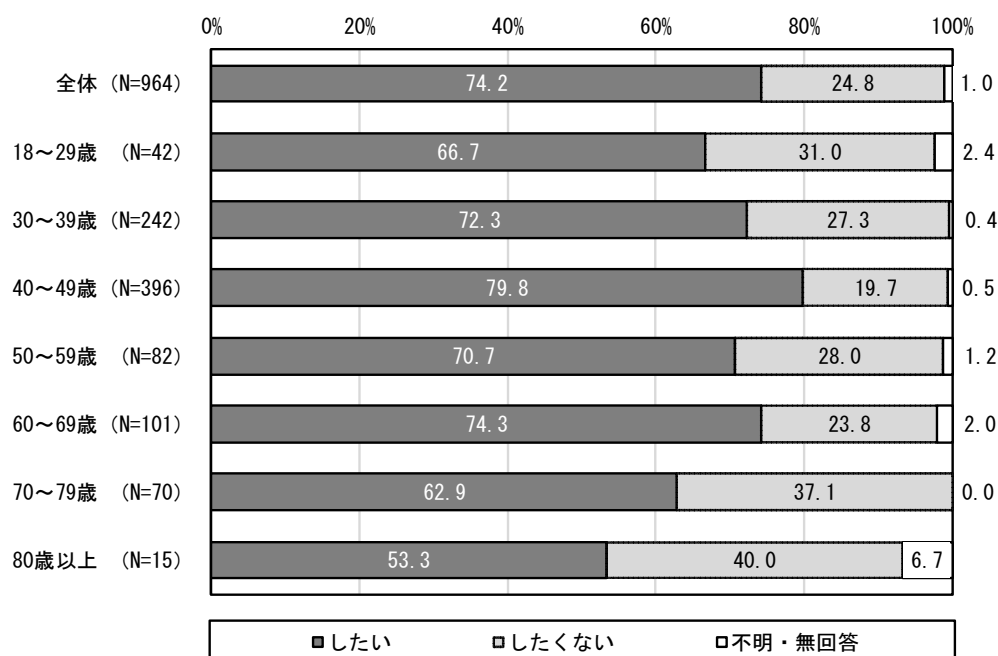
年齢別では、すべての年齢層で「ほとんどしていない」が最も多くなっていますが、70歳以上では「ほぼ毎日」が15%近くとなっています。



問 25 あなたは、運動やスポーツを今後したいと思いますか。（1つだけ○）

全体では、「したい」が74.2%、「したくない」が24.8%となっています。

年齢別では、40～49歳で「したい」が79.8%と最も多くなっています。80歳以上では「したい」が53.5%と最も少なくなっています。

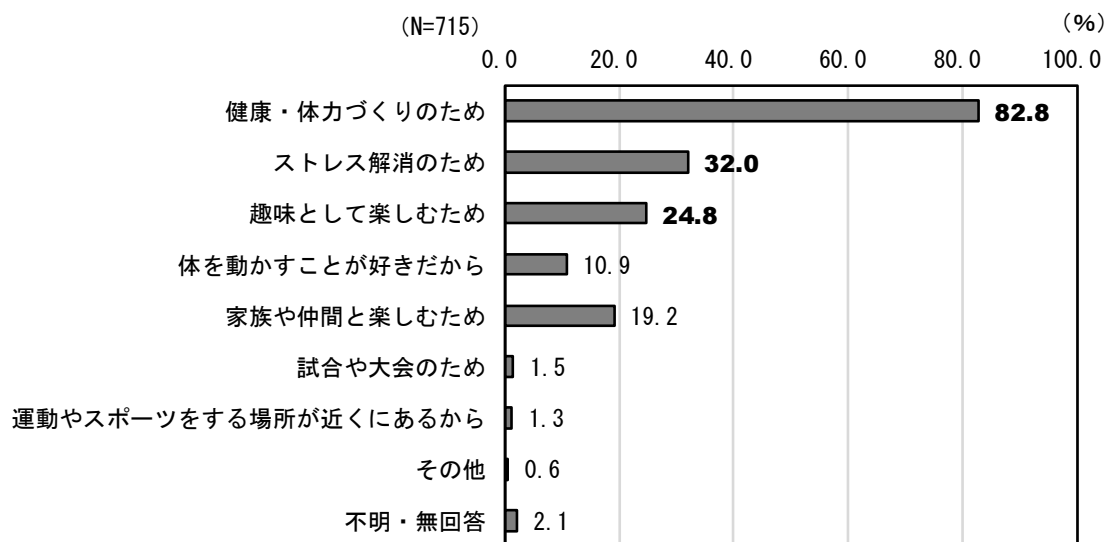


問 25 で「1. したい」を選んだ人にお聞きします。

問 25（１） あなたが運動やスポーツをしようと思うのは、どのような理由からですか。
（主なもの２つまで○）

全体では、「健康・体力づくりのため」が 82.8%と最も多く、次いで「ストレス解消のため」が 32.0%、「趣味として楽しむため」が 24.8%となっています。

年齢別では、すべての年齢層で「健康・体力づくりのため」が最も多くなっています。また、18～29 歳で「趣味として楽しむため」が他の年齢層より多くなっています。



<年齢別>

(%)

選択肢	18～ 29 歳 (N=28)	30～ 39 歳 (N=175)	40～ 49 歳 (N=316)	50～ 59 歳 (N=58)	60～ 69 歳 (N=75)	70～ 79 歳 (N=42)	80 歳 以上 (N=8)
健康・体力づくりのため	46.4	77.1	82.3	89.7	98.7	95.5	87.5
ストレス解消のため	32.1	33.7	37.0	27.6	17.3	18.2	12.5
趣味として楽しむため	42.9	23.4	23.7	27.6	22.7	27.3	25.0
体を動かすことが好きだから	7.1	13.1	10.4	6.9	9.3	13.6	12.5
家族や仲間と楽しむため	25.0	22.9	17.4	13.8	16.0	29.5	12.5
試合や大会のため	7.1	2.3	0.9	1.7	1.3	0.0	0.0
運動やスポーツをする場所が近くにあるから	3.6	0.6	0.3	0.0	4.0	6.8	0.0
その他	7.1	0.0	0.0	1.7	0.0	2.3	0.0
不明・無回答	3.6	4.6	0.9	1.7	1.3	0.0	12.5

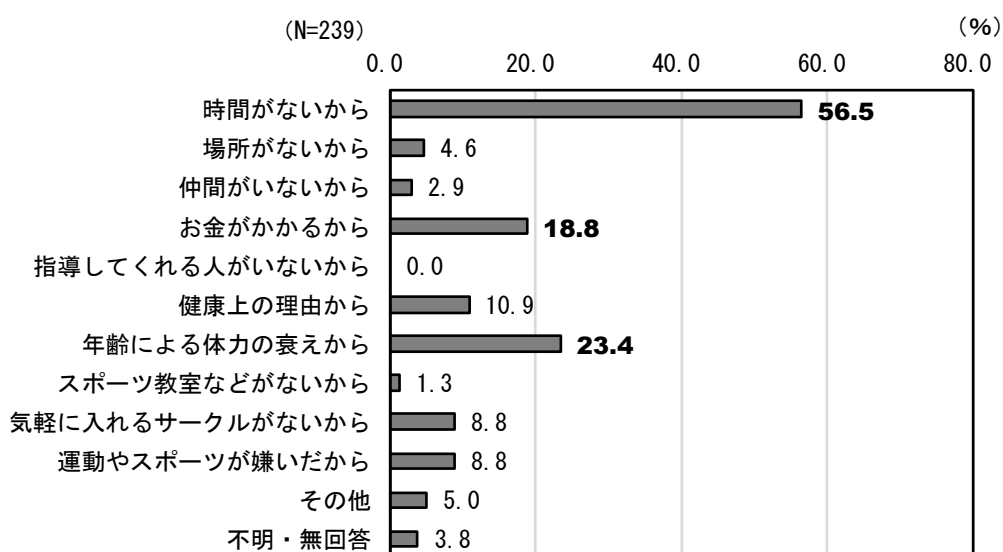
濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問 25 で「2. したくない」を選んだ人にお聞きします。

問 25（2） あなたが運動やスポーツをしないのは、どのような理由からですか。
（主なもの2つまで○）

全体では、「時間がないから」が 56.5%と最も多く、次いで「年齢による体力の衰えから」が 23.4%、「お金がかかるから」が 18.8%となっています。

年齢別では、18～29 歳で「運動やスポーツが嫌いだから」が、30～49 歳と 60～69 歳で「時間がないから」が、50～59 歳で「時間がないから」と「年齢による体力の衰えから」が、70 歳以上で「年齢による体力の衰えから」が、それぞれ最も多くなっています。



<年齢別>

(％)

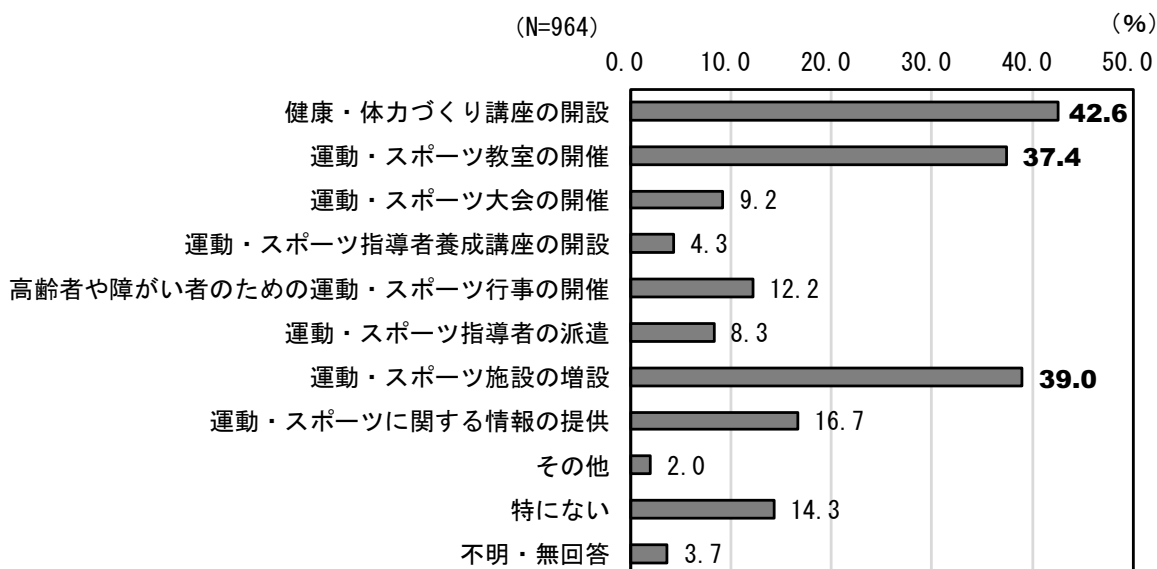
選択肢	18～ 29 歳 (N=13)	30～ 39 歳 (N=66)	40～ 49 歳 (N=78)	50～ 59 歳 (N=23)	60～ 69 歳 (N=24)	70～ 79 歳 (N=26)	80 歳 以上 (N=6)
時間がないから	30.8	74.2	67.9	39.1	45.8	23.1	16.7
場所がないから	7.7	3.0	7.7	4.3	4.2	0.0	0.0
仲間がいないから	0.0	6.1	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
お金がかかるから	7.7	34.8	19.2	8.7	8.3	7.7	0.0
指導してくれる人がいないから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康上の理由から	7.7	6.1	2.6	8.7	20.8	30.8	50.0
年齢による体力の衰えから	0.0	3.0	20.5	39.1	25.0	69.2	66.7
スポーツ教室などがないから	0.0	0.0	2.6	4.3	0.0	0.0	0.0
気軽にに入れるサークルがないから	7.7	3.0	7.7	8.7	25.0	15.4	0.0
運動やスポーツが嫌いだから	46.2	4.5	7.7	13.0	8.3	3.8	0.0
その他	15.4	7.6	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0
不明・無回答	0.0	4.5	3.8	8.7	4.2	0.0	0.0

濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問 26 吉野川市で充実してほしい運動・スポーツの取組は何ですか。

(主なもの3つまで○)

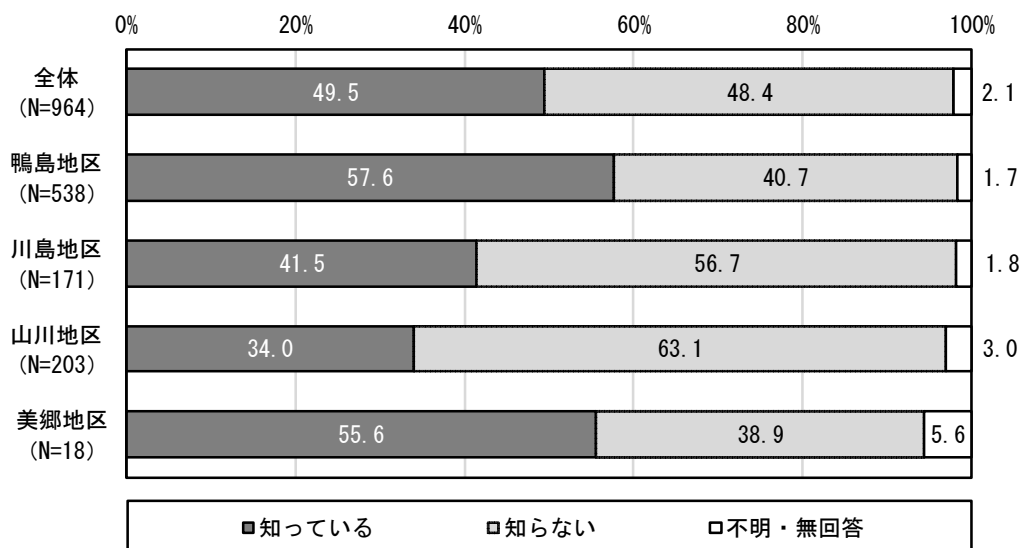
「健康・体力づくり講座の開設」が 42.6%と最も多く、次いで「運動・スポーツ施設の増設」が 39.0%、「運動・スポーツ教室の開催」が 37.4%となっています。



問 27 あなたは新しくできるアリーナのことを知っていますか。(1つだけ○)

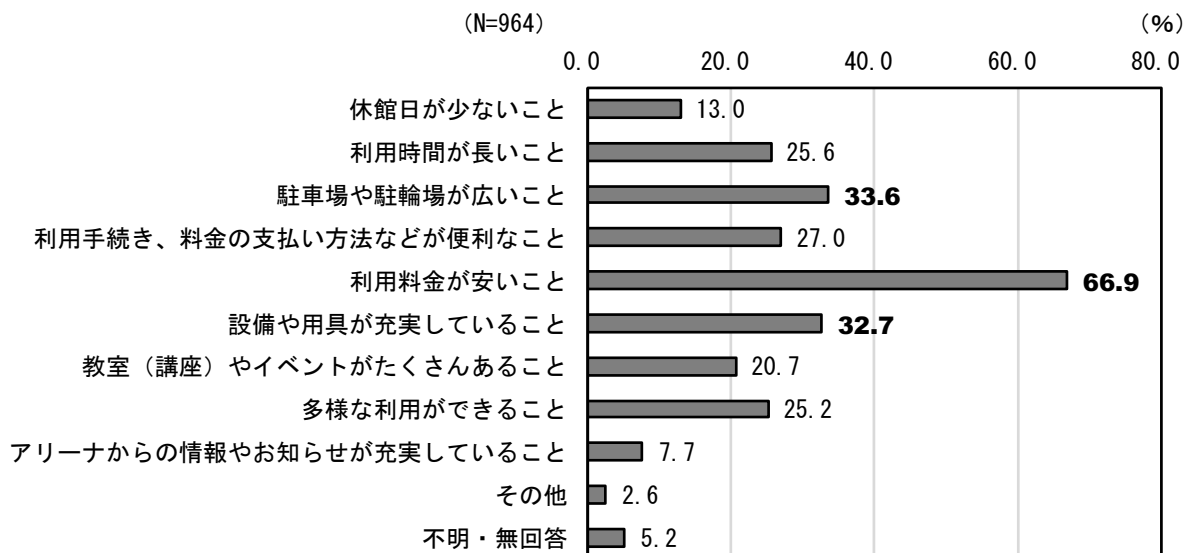
全体では、「知っている」が 49.5%、「知らない」が 48.4%となっています。

地区別では、鴨島地区と美郷地区で「知っている」が半数を上回っていますが、他の地区は「知っている」が半数を下回っています。山川地区は「知っている」が 34.0%と最も少なくなっています。



問 28 新しくできるアリーナにどのようなことを期待しますか。(主なもの3つまで○)

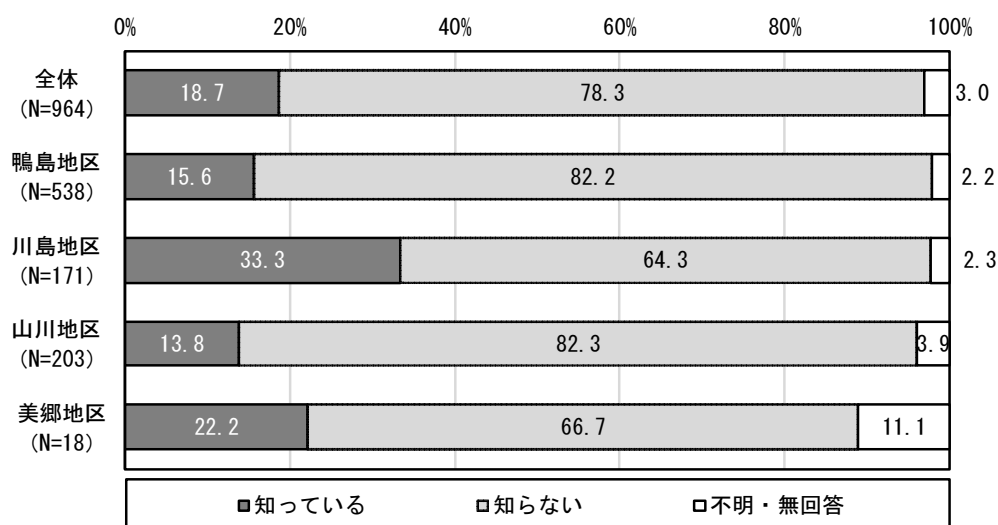
「利用料金が安いこと」が66.9%と最も多く、次いで「駐車場や駐輪場が広いこと」が33.6%、「設備や用具が充実していること」が32.7%となっています。



問 29 あなたは新しくできる多目的グラウンド(スポーツ施設)のことを知っていますか。(1つだけ○)

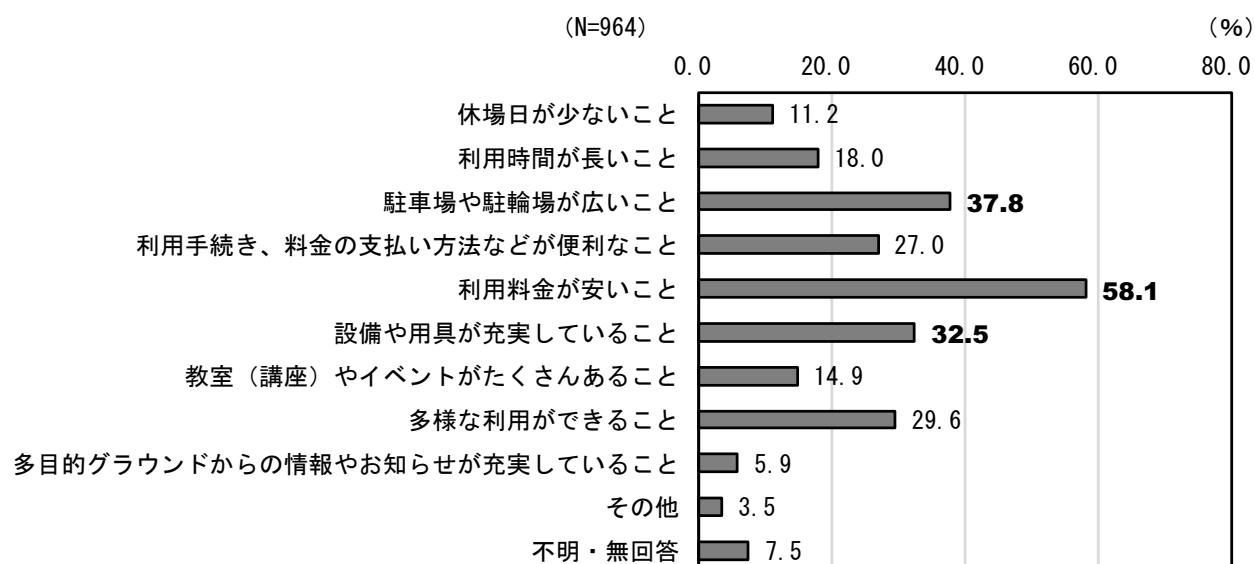
全体では、「知っている」が18.7%、「知らない」が78.3%となっています。

地区別では、川島地区で「知っている」が33.3%と最も多く、他の地区はいずれも「知っている」が30%未満となっています。



問 30 新しくできる多目的グラウンド（スポーツ施設）にどのようなことを期待しますか。
（主なもの3つまで○）

「利用料金が安いこと」が58.1%と最も多く、次いで「駐車場や駐輪場が広いこと」が37.8%、「設備や用具が充実していること」が32.5%となっています。

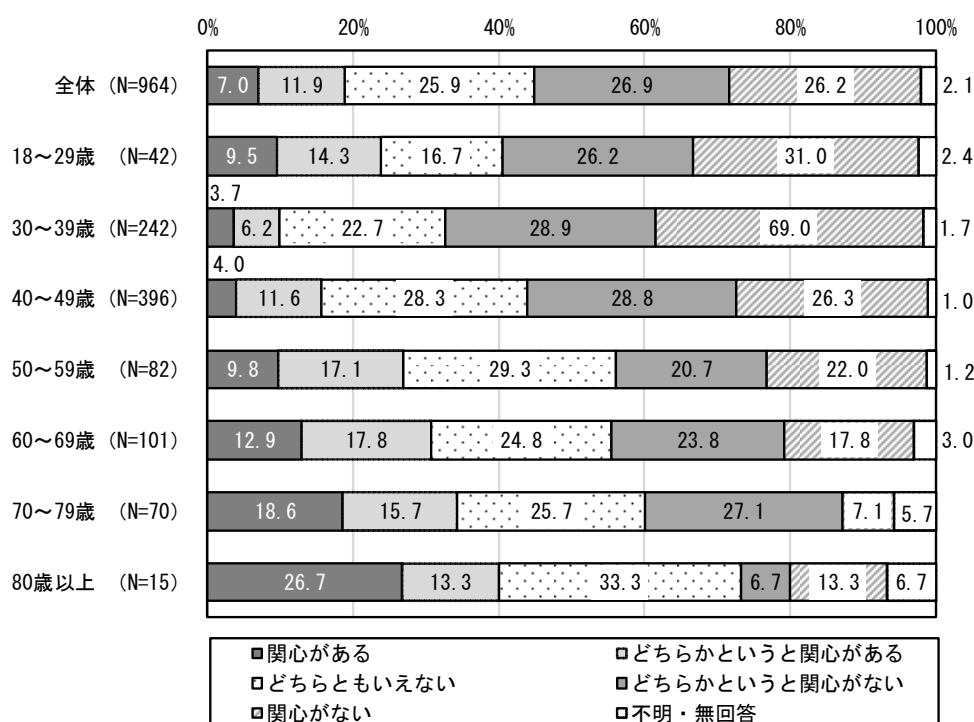


9. 文化財の保護活動について

問 31 あなたは市で行っている文化財の保護活動に関心がありますか。（1つだけ○）

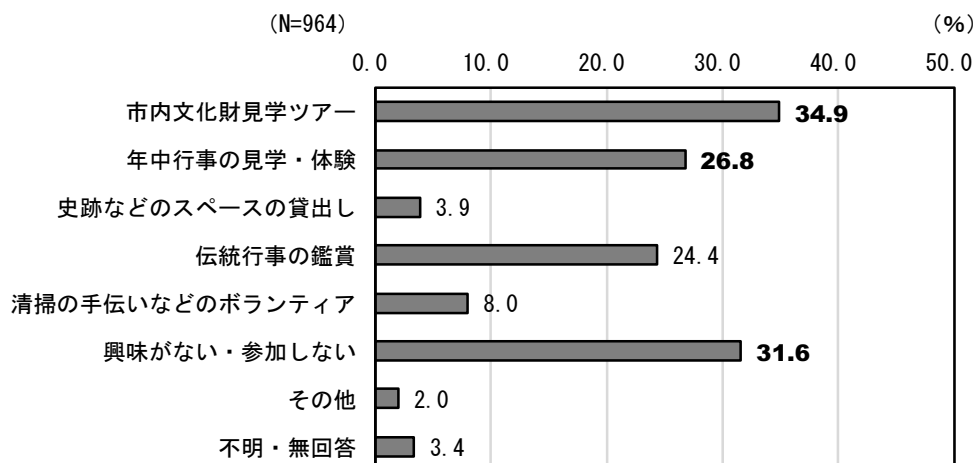
全体では、「どちらかというに関心がない」が26.9%と最も多く、次いで「関心がない」が26.2%、「どちらともいえない」が25.9%となっています。

年齢別では、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は30～39歳で9.9%と最も少なく、年齢が上がるにつれて多くなっています。



問 32 あなたが文化財に触れる機会が持てるとしたら、どのようなことをしてみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

「市内文化財見学ツアー」が34.9%と最も多く、次いで「興味がない・参加しない」が31.6%、「年中行事の見学・体験」が26.8%となっています。

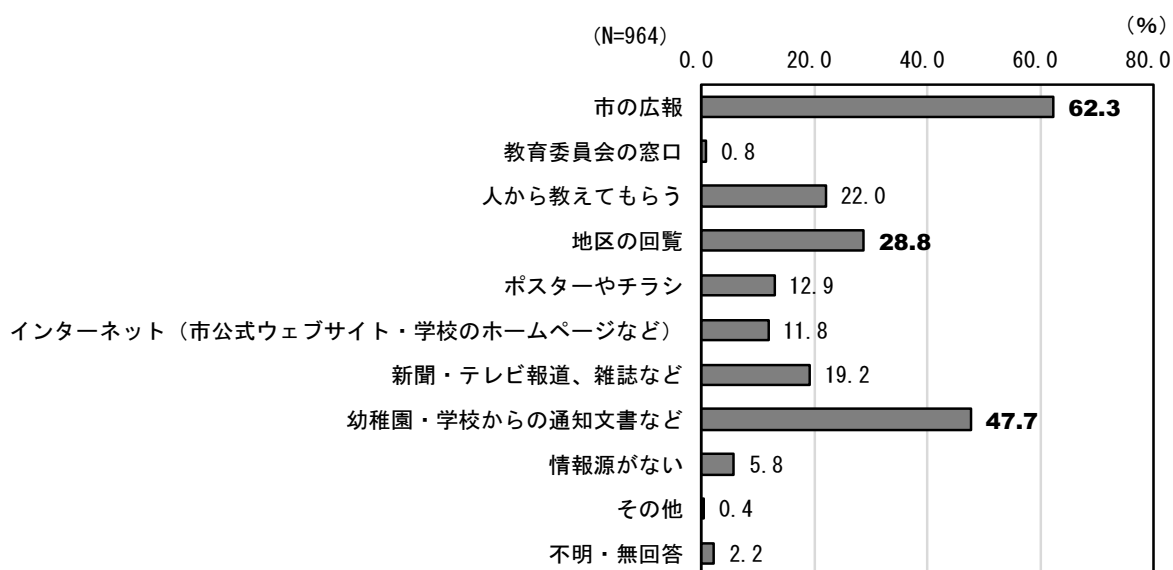


10. 総合的なことについて

問 33 吉野川市の教育についての情報は何で知りますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「市の広報」が 62.3%と最も多く、次いで「幼稚園・学校からの通知文書など」が 47.7%、「地区の回覧」が 28.8%となっています。

年齢別では、30～49 歳で「幼稚園・学校からの通知文書など」が最も多く、他の年齢層では「市の広報」が最も多くなっています。



<年齢別>

(％)

選択肢	18～ 29 歳 (N=42)	30～ 39 歳 (N=242)	40～ 49 歳 (N=396)	50～ 59 歳 (N=82)	60～ 69 歳 (N=101)	70～ 79 歳 (N=70)	80 歳 以上 (N=15)
市の広報	35.7	57.0	59.1	75.6	76.2	77.1	93.3
教育委員会の窓口	0.0	1.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人から教えてもらう	23.8	28.1	21.5	12.2	23.8	18.6	0.0
地区の回覧	19.0	18.2	23.2	40.2	53.5	50.0	60.0
ポスターやチラシ	4.8	17.4	10.6	14.6	10.9	11.4	13.3
インターネット	16.7	16.9	13.4	4.9	5.9	2.9	0.0
新聞・テレビ報道、雑誌など	16.7	13.2	16.9	17.1	26.7	37.1	53.3
幼稚園・学校からの通知文書など	28.6	65.3	60.9	31.7	10.9	5.7	6.7
情報源がない	16.7	4.1	6.1	9.8	4.0	4.3	0.0
その他	0.0	1.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	0.0	2.5	1.8	0.0	2.0	5.7	0.0

濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

11. 各設問の「その他」の回答

問 6 吉野川市の子どもやあなたのお子さんには、どのような点が特に伸びてほしいと思っていますか。

自主性／道徳心／適応力／忍耐力

問 7 吉野川市の子どもやあなたのお子さんの、道徳心や公共心について、どうお考えですか。

わからない(15)

※カッコ内の数字は、類似意見の件数。(以下、同)

問 7 (1) (道徳心や公共心が低下していると答えた人へ) どんなところが低下していると思いますか。

気づかい／自転車利用のマナーの悪さ／ゲームばかり触って他に関心を持たない

問 7 (2) 低下していると選んだことを育成するには、どうしたらよいと思いますか。

子どものお手本になれる大人になる(5)／ボランティア活動への参加を推進する／常識のある親を育てる／「ポジティブ行動支援」をして、しっかりほめる／学校に対してもこの先生大丈夫かな?と思う方もいる／社会全体で同じ方向を向いて取り組まないとだめ

問 8 (1) (インターネット接続しているのは) どのような機器ですか。

テレビ(7)／IPpd Touch(2)／チャレンジ／使える環境ではあるが、使ったことはない／3DS SWITCH

問 8 (2) お子さんは情報機器を使って何をしていますか。

You Tube(動画)を見る(88)／環境はあるが使っていない(9)／マンガ(アニメ)を見る(4)／音楽を聴く(2)／通信ゲーム(2)／ゲームの作成／英語講座／絵を描く／Google Mapを見る

問 8 (3) お子さんがメールや情報機器の通信機能を使用したことにより、トラブルが起きたことはありますか。

外部とメールできない／メールのやり取りに時間がかかり過ぎる時がある／スマホの使い過ぎ、約束を守らないことによる親子関係の悪化／パソコンの設定不良が起こった／知らない人と友人になったが中止させた／携帯電話のiモードを操作し、いつもの月より高額な請求がきた／シェアしている容量がなくなる。使い過ぎている／ネットの言葉を多用するので、親は好ましくないと思っている。

問 9 吉野川市の幼稚園・認定こども園の指導や教育環境について期待することは何ですか。

先生の増員（2）／親の意識の改善／初等教育以前に様々な体験ができる環境を提供し、子どもの可能性を広げてほしい／しっかりと情報を伝えてほしい／一か所に集めた割に道路の整備ができていない／感性が豊かな子どもを育てる／知育教育／あいさつ等が元気にできるようにするための指導体制／小学校との連携（行事を同じにするなど）

問 10 地域に開かれた学校づくりや地域と学校が一緒に子どもたちを育てていく上で、どのようなことが重要だと考えますか。

PTA 活動の支援（指導助言と勉強会等への経費助成）／PTA 会長会（他の小学校と合同）／コミュニティスクールになる／別に地域に開かれていなくてよいと思う／地域住民が学校施設を利用できることは有用だが、学校の活動にまで意見をすべきではない

問 11 吉野川市の小・中学校の指導や教育環境について期待することは何ですか。

職員を増やして先生の負担を減らすべき／人によって態度を変える／人間としてマニュアル通りで温かさを感じない／地域間の格差を少なくする

問 12 特別支援教育について、吉野川市として取り組むべきことは何だと思いませんか。

本職（プロ）、言語・リハビリ等機関の協力／将来性を見据えた指導／全部大切だと思う／教職員の増員、地域の人やボランティアなどの協力

問 13 吉野川市における学校再編について、どうお考えですか。

学校を減らすのではなく、子どもと教職員を増やしてほしい／学校再編の理由を明確にする。小規模解消もその一つではある／高越小学校が開校したメリット・デメリットを正確に把握し、それぞれの地域においてどのような進め方をするのがよいか、職員、地域の方々と意見交換をすべき／仕方ないかも知れないが、再編はできるだけ少なくしてほしい。大人になっても繋がりが強いので／再編により起こっている不具合や問題への対処方法を練った上で、早急に推進すべき／町外のことなのでよくわからない／市にメリットがあるだけで、保護者・子どもへのメリットは何ですか？再編するならそれに従うだけ／保護者・地域・その他関係する機関などよく話し合い、すべてが納得決定してから進めるべき／できればしない方がよいが、生徒減少で仕方ないなら受け入れる／対象地区の状況等をみて判断

問 15 あなたが子どものときに比べ、家庭と地域とのかかわりが変化していると思いませんか。

わからない（9）／他地域から移住してきているが、地域の高齢者がかかわり過ぎる（口を出し過ぎる）／子どもがいない家庭との接点が少ない。例えば夏休みのラジオ体操に地域の人に参加できるとよい／防犯のためか家庭と地域の距離が広がっている

問 15 (1) 家庭と地域のかかわりが弱くなっている原因は何だと思いますか。

不審者などの情報や犯罪の増加による不信感／人の数が少ないため、かかわろうにもかかわれない／子供が被害に遭う事件と、社会協調性に負の相関があると感じるから

問 16 (1) あなたが教育の場面で協力できること・したいことは次のどれですか。

毎日ではないが、時々みている／体力的に今は無理／何ができるのかはわからないが、できることはしたい／あいさつ／家庭教育支援／行事・イベントごとの手助け／ダルクローズ・リトミック（音楽教育）の指導

問 18 あなたがこれまでにしたことのある習い事や学習活動の分野は何ですか。

特になし(13)／学習塾／ピアノ／お金に関すること／LGBT／プリザーブドフラワー・ハーバリウム／習字

問 19 今後、あなたがやってみたい習い事や学習活動の分野は何ですか。

特になし(18)／余裕があまりないので、できにくい／家計のやり方／LGBT／料理

問 20 市の生涯学習環境について不足している、あるいは必要であると思うものは何ですか。

講座の広報・周知・情報提供(11)／仕事をしてる人が参加できにくい。休日や夜間に実施してほしい(7)／仕事が忙しく生涯学習をよく理解できてない・あることを知らない(3)／わからない(3)／講座等の専門性や講師の知識・質の向上(3)／「生涯学習」の定義が不明。子どもの頃はなかったもの／徳島市にあるような講座が近くにはないのが残念／ニーズ調査／交通が便利になってほしい／文化面の教育に乏しい（一流の文化人を呼び、身近で聞きたい）

問 21 (2) 図書館（室）を利用しない理由は何ですか。

時間がないから(11)／狭いから・内容が貧弱だから(5)／県の文化の森の図書館を利用しているから(4)／本の内容は、インターネットなどで知ることができるから(3)／図書館（室）の場所や利用方法を知らないから(3)／無料で使えるパソコンや Wi-Fi 環境がないから／開館時間を知らない／読みたい本は自分で買っている／体調が悪いから／実家の利用し慣れた図書館へ行っている／学校で借りてくる本や家の本で今は十分だと思う／子供が小さいから／態度が悪い／図書館がほしい／他市の図書館の方が充実しているのでそちらを利用している（阿波市）／脇町図書館ミライズは利便性、立地条件、内容共に素晴らしい／子どもが大きくなると、親は一緒に行かなくなる／大学図書館を利用

問 23 新しくできる図書館にどのようなことを期待しますか。

特になし(6)／カフェ・飲食店(3)／子ども向けのスペース(2)／遠いので何も期待できない／借りられる期間が長いこと／文化の森の図書館と連動していること／行ったことがないのでわからない／体の不自由な人が利用しやすい場所／図書館は利用しない／とにかく書籍の充実を第一に考えてほしい。インターネットなど他のこと(もの)はいらない／Wi-Fi環境が整っていること／本独特のにおいが少ないこと／利用者の意見を取り入れるようにしてほしい／安全であること／子どもがうるさくても注意されず、気を遣わない利用時間をつくってほしい／そもそも図書館がいらない／作家ごとの充実／子どもの自習机(個々)の充実／閉館時間を9時にしてほしい

問 25 (1) あなたが運動やスポーツをしようと思うのは、どのような理由からですか。

高齢者なので寝たきりにならないように／犬の散歩／プロポーションの維持／定年までは負けない体力・気力

問 25 (2) あなたが運動やスポーツをしないのは、どのような理由からですか。

仕事が忙しい・疲れているから(6)／高齢だから(2)／トイレが汚いから／興味がないから／疲れるから

問 26 吉野川市で充実してほしい運動・スポーツの取組は何ですか。

設備・器具の充実・改善(2)／自由に利用できる場所／古株みたいなお局様のいないサークル活動／歩いて行ける距離…自治会館など／スポーツクラブ・部・チームの増加／寝たきりにならないための講座や運動を教えてほしい／オリンピック・ワールドカップ等大舞台で活躍ができる選手の育成／武道やダンスのための小規模なスポーツ・運動施設の増設または改築／簡単に初心者も楽しめるような入口であること／50m温水プールの開設／阿波踊りの練習ができる施設／子ども向けのスポーツ教室／今あるスイミングスクールへの何らかの応援。スイミングスクールは値段が高い／水泳がしたいです／安く使える施設／レッグカール・レッグエクステンションで歩行力をつける／親子で参加できる教室(テニスなど)

問 28 新しくできるアリーナにどのようなことを期待しますか。

特になし(12)／税金の無駄(2)／団体に属さない一般人も使いやすいこと／子どもと一緒にOKなこと／本当に必要なのか？／年齢の高い者でも利用できる場所／中途半端な施設ではなく、徳島で開催される大会がすべて行われるようになるぐらいのアリーナにするべき／スポーツ以外の文化活動(コンサートなど)／利用することがあると思わない／無料に／プールがあること

問 30 新しくできる多目的グラウンドにどのようなことを期待しますか。

特になし(12) / 遠いので利用したいと思わない(2) / 草刈りなどの管理が継続してできること(2) / テニスコートをつくってほしい(2) / 利用しない / 荒地にならないよう利用者の確保をしてほしい / 防犯 / 交通機関の充実 / 税金の無駄 / 無断駐車しない。周辺住民に迷惑をかけない / 体が不自由な者でも利用できる場所 / よいと思います / トイレがきれいなこと / 赤字にならないよう長期運営できるように贅沢せず / 山の上なので暗い雰囲気にならないようにしてほしい / 無料に / 税金大丈夫ですか / 子供が安心して使えるようにしてほしい / 宗教施設が近いので影響がないようにしてほしい。

問 32 文化財に触れる機会が持てるとしたら、どのようなことをしてみたいですか。

具体的な文化財がイメージできない / 吉野川市の文化財をあまり知らない / まずは吉野川市に存在する文化財のくわしい一覧表の冊子 / 今のところ介護と仕事でできない / 参加してみたいが体が不自由 / 該当施設等でのイベント開催、夏祭り、盆おどり / 具体的にってから考える / 学校で紹介 / 学校で子供たちに身近にある文化財に触れる機会があればよい / よくわからない

問 33 吉野川市の教育についての情報は何で知りますか。

市役所に行った際、チラシ(置いてあるもの)で / 友達

12. 自由回答

■吉野川市の教育や生涯学習に関して、ご意見やご要望がございましたらお書きください。

※教育振興に関わるご意見のみ、掲載しています。一部、表現を調整している部分があります。●は判読不能箇所。

保育所・認定こども園・幼稚園・学校教育等について
県・市の教育委員会はもっと現場を知るべきです。現場の先生は多忙な中、子どもたちをよくみてくれていると思います。夜、学校によく電気がついているのも見ます。現場（特に担任）の声を直接聞くべきです。
低年齢より未来につながるような技術を身に付けさせる。英語やパソコンなど。人権教育…いじめなどにつながらないように。教育者への教育…この頃は安心して子どもを任せられない人材が多いように思います。
行政、教育指導者の資質の向上。特に夜の飲み会などで質の悪さを痛感する。個々では、そうでないが、団体だと特にひどい（打ち上げ飲み会）。
新しく友だちになった県外の人から、今でもエアコンのない学校があると聞いた。なかなか電源を入れてくれないことに不満だったが、設置されていただけてもありがたいと、吉野川市から出て初めてわかった。
教育機関の連携、情報共有。
教育を充実させるためには、とにかく予算を増やす。教育を受ける側のことばかりクローズアップされてきたが、教育者が充実しないと実現できない。予算を使うところをもう少し考えて、幼児教育・学校教育の職員を充実させるべき。職員の本音をもっと聞いて、現実を知る必要が行政にはある。
塾などに行かなくてもよいだけの学力、体力などができる体制になり、子どもの心にゆとりがあり、自分で考え、行動できる人材に育ててほしいです。
吉野川市の幼・小・中学校で「ポジティブ行動支援」に取り組んでほしい。子どもをほめて、しっかり認めて、自信をつけさせてほしい。「置き勉」（教科書を教室に置く）をしてほしい。成長期の子どもが大きな荷物を持ち登下校すると、姿勢に悪影響が出るので。
少子化のため学校の統廃校を進めていますが、市として人口の増加、子どもが増える取組をしないと未来はないと思う。市が10年後20年後のビジョンをどう考えているのか全く見えてこない。
子どもが学校を卒業してしまうと、教育の情報は全くといっていいほどない。
ひとり親家庭への支給対象となる扶養手当について、支給認定額の見直しを希望します。働ける立場なのに働いていない方が満額支給され、頑張っひとりで働いている家庭は収入額に応じ、減額支給となる制度に非常に理不尽さを感じています。
孫が保育園の入所申請をしているが、いっぱいとのことで入れない。祖父母と敷地内同居の家が入れているのに不公平だ。祖父母が60才以上だと無条件に就労証明がいらないと聞いたが、ランチやスイミングに行ける元気があれば孫もみれるのでは？
家庭の教育力をもっと高める必要がある。学校再編に関しては、慎重に進めていくべき。

生徒も教師も共に明るく、優しく、●しく、なごやかな学校であるように。そして町を愛する子どもを育てて下さい。
昨年夏、商業施設の駐車場で宿題をしている小学生たちを見ました。行くところがなかったのでしょうか。図書館も新しくなりますが、学校は開けられないのですか？ 安全に遊ぶことができる場所を提供して下さい。また、その行動が迷惑行為であること、危険であることなど夏休み前の教育をきちんと行って下さい。
私自身の小学校の頃を振り返ると、道徳や人権教育は充実していたように思います。とくに 10 歳前後に年代を問わず様々な人に接する経験をして、人間性、協調性を養うことが大切だと考えます。
鴨島町には私立認定こども園しかなく、弁当持参日があったり、保育料が公立と比べ高いなどの問題があり、公立の幼稚園をなくすのは問題があると思います。また、「いじめ」が小学校、学童でもあり、職員に相談してもきちんと対応してもらえないことがあります。問題が公に大きくなる前に指導を徹底してほしい。
学校再編については、学校が近いことが理想ですが、少子化が進む中、ある程度の人数で切磋琢磨することが大切だと思います。多目的交流センターについては、場所が駅から近いことから、人が集まり、まわりも活性化するようなものになることを望みます。
学校には子どもの学力向上を第一に取り組んでほしい。そのためには、行政でできることは行政として、学校や教師が学習に集中できる環境づくりをすること。人権教育など学校に多くの部分を頼っているように思う。地域や行政でできることは地域や行政がすべき。
土曜日を、平日の授業でできなかったことや道徳教育の時間にあて、子どもたちも時間に余裕ができて楽しく学校生活を過ごすようにできないものなのでしょうか？
私の子どもが通っていた小学校は、学校全体で熱心に人権学習に取り組んでいました。いじめや差別的な空気がある中では、自分の気持ちを表現できません。子どもたち一人ひとりにとって楽しい学級になるような仲間づくりをして、安心して自分の思いを語れる、ひとりぼっちの子どもがいない学級づくりをしてほしいです。
小学校の統合により高越小学校が開校していますが、閉校された各小学校の利用活用については検討されているのか？ 検討していない場合、関係住民の声を聞き取りしたのち、有識者等の審議会を設置して早急に、真剣に検討してほしい。（イ）東南海地震に対応する防災拠点としての施設に改修するのだろうか？（ロ）高齢者の憩いの場所としての施設（一部）にも活用してはどうか？（ハ）高齢者に対する予算は多く計上されているが、子どもたち、特に学童保育に対する予算はどうか？ 母子・父子家庭の子どもが高校・大学にも進学できるよう、無償の奨学金制度を確立してほしいと思う。
吉野川市外の学校は台風、雪などでも登校している時に、吉野川市は休校が多いため、後で勉強をつめ込むかたちになる。土曜日に授業のあるところと、ないところがあるがなぜ？
警報が出ても、送り迎えはするので預かってほしい。
警報発令時の対応を再検討してもらいたい。今年の6月のように何連休にもなると学習面の遅れも気になりますし、親の仕事等での負担も多いです。
1. 学校教育については、国際化に対応できる人材に育てて下さい。2. 生涯学習については、これまでもよくしてくれていると思います。3. 多目的交流センターに期待しています。

下の子が新しい認定こども園へ通園することになっており、人数も増え、充実した行事等の経験はできないことが残念です。こども園になれば保育所ベースの教育内容になるかと思いますが、幼稚園のよさも残していただきたいと強く願っております。吉野川市内には私立のこども園もありますが、わが家はぜひ公立に通わせたいと思っています。
吉野川市子ども園には PTA の組織がなく、保護者会としての活動になっています。今後、すべての幼稚園がこども園になり、PTA 組織がなくなるようになれば、研修会や交流会の機会が減少したり、情報が届かなくなったりするのではないかと思います。小中学校の PTA 活動への参加や理解を深めるためにも、こども園にも PTA 組織を設けるべきだと思います。
学童の運営が個々で違うのは、同じ市としておかしいのではないかと思います。時間もバラバラであり、働く親にとっては優しくないと感じている。迎えが 17 時 30 分まででは、少し離れた勤務先ではパート勤務しかできない。これからは共働きの家庭は多くなるので、市としても働きかけてほしい。
小学校の教員の質の向上に力を注いでほしいです。近年、発達障がいやグレーゾーンの子が増えています。特に小学校の先生の対応に不満を感じるが多々あります。一人ひとりに応じた対応を強く望みます。中学校の先生は子ども同士のトラブルにも迅速に対応して下さり、とても素晴らしいと思います。
保育所、幼稚園を閉園し、認定こども園化していくのは反対です（小学校も同じ）。山川町でも反対意見が多いのにも関わらず、こども園になったと聞いています。実際利用する人達の意見が反映されないのが疑問です。環境が変わることで子ども達も不安定になります。
子どもの教育、社会性、安全には、家庭と地域のつながりが大事だと思っています。学校の再編は地域の方とのつながりや子どものゆとりをなくしてしまいます。そのことによって人の気持ちがみえなくなったりするのを、親はいちばん心配しています。
学校再編のことなどについて、当事者になるであろう子ども、保護者に意見を聞くべきではないのか。もっといろいろな情報を発信し、誰もが認知できているようにしなければいけない。役所関係の方々にはもっと柔軟な対応と、誰にたずねても答えてくれるようにしてもらいたい。
教育に関しては、吉野川市は何もしていないように思う。子どものことを電話で相談しても、言い訳ばかりできちんとした解決法を教えてくれない。
給食がおいしくないという意見が自分の子どもも含め、いろいろなところで聞えます。運動会の組体操は必要ないと思う。踊りやダンス、子どもたちの楽しんでいる姿が見たいです。
学校の図書室を、子どもたちが利用しやすい本の配置や高さにしてもらいたい。市の図書館を小さくしたような並べ方の方が、本を選びやすいのではと思います。子どもが参加する公民館や教育委員会の行事がたくさんあり（特に夏休み）、大変ありがたく思います。
教育等すべてにおいて知らないことが多く、市役所に行った際にたまたま知ることが多い。他校とのかかわりも、薄く感じる。
夏休みの子どもたちの生活について、小さい子や低学年の子は学童など利用していますが、高学年になるとあまり行かなくなったり、みてもらえなかったりします。もう少し学校などで高学年の子たちが自由に動きまわれる時間か、パソコン教室など次のステップにつながるようなことをしてほしいです。
もっと英語教育に力を入れるべき。他県では幼稚園から始めています。遅いと思います。

幼少期から外国語活動を増やし、小学校高学年ではもう少しレベルの高い内容にしてほしい。外国人と触れ合える機会を増やしてほしい。1つの教科に対して、より深い知識が身に付くようにしてほしいので、1人の先生が何教科も掛け持ちしてほしい。
音楽方面の芸術活動が他県に比べてかなり低いように思われます。スポーツだけでなく、美術音楽教育にもっと力を入れるべきです。
運動神経は小学校入学前までにできあがると言われています。認定こども園になった際、幼稚園の遊具と同様に、うんてい、のぼり棒なども設置してほしいです。また、こども園に、とび箱・マット等も置いていただき、運動能力の向上に努めてほしいです。
教科書から離れ過ぎた授業は、あまりしてほしい。
不登校児童への対策をもっと考えてほしいです。適応指導教室を設置していますが、職員が少なく学習面、精神面への対応が十分とはいえないと思います。また教室の存在を知らず、家庭内で引きこもっている場合もあります。子どもや親が積極的に利用でき、再登校の手助けができるよう専門家の配置などを検討していただきたいです。
吉野川市立の公立学校には空調整備があります。夏などは家よりも学校の方が勉強しやすいかもしれません。夏休みをお盆休みだけにしてはどうでしょうか。学力の向上にもなるでしょうし、共働きの家庭も助かります。運動会や学校行事の予定を組む上でも、学校登校日が多い方がいろいろな視点を持てるのではないのでしょうか。
吉野川市の教育委員会の対応は親切で、気兼ねなく相談もできて安心できると思っています。小学校の先生、校長先生も熱心で子どもを安心して通わせられます。この先も変わることなく、今の対応が引き継がれてほしいです。
幼児や未就学児に対しての視点が多くなり、うちの子が小さい時にはここまでの手厚いものではなかった。中学生の子を持つ家庭にも同じようにしてほしい。同じ義務教育であるならば、小学生だけはおかしい。
息子がスポーツをしています。が、中学校にはその部活がなく、大会などにほとんど出場できない状態です。ほかの中学校との連携など、マイナーなスポーツでも続けていけるよう、子どもが心身共に健やかに成長していける環境づくりを切望しています。
ハコだけできて終わり、満足にならないように、中味のある教育をしていただけたらと思います。子育て、教育にお金を投入し、子どもたちがよい未来を歩んでいけるように…。家庭教育も非常に大事です。家庭支援をすることが子どもの将来に響きます。
先生方の部活の負担が大きすぎだと思います。理想は業務委託ですが…。部活の長時間労働を短縮し、本業である教育を充実させていただきたい。文章力、読解力が弱いので（英語も含めて）文章テンプレートを活用してはどうでしょう。
小学校の運動会の時期を春にしてほしいです。9月～10月初めの頃は残暑が厳しく、熱中症が大変心配です。
低料金または無料で勉強を教えてほしいです。お金のない所は塾に行かすこともできず、学力の格差が出てくるので、早急にそのような場をつくって下さい。

体罰はなくなっても生徒への暴言はなくなっていない。いじめや不登校などの対処ができていない。中学生になると先生は事務的になり、生徒一人ひとりのことはみていない。受験やテストの勉強のことだけ。宿題は出すだけで何の工夫もない。学校ではなく塾で勉強していて授業の意味がない。よい先生もいるが悪い担任に当たると１年間でまん年の年になる。
小中学校の体育館への空調の常設。（災害時利用可能なもの）
学力の向上は大事だが、子ども達の思いやりの心を育てるべきだと思います。（いじめを耳にするため）
すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定・指導を強く望みます。
パワハラ発言があると思う（中学校でのクラブ活動）。教育者の発言が絶対的に正しいと思われている。それは違うと思う。一度調査してほしい。
英語やＩＣＴを活用した教育を、もっと早く充実させてほしい。
教育を充実させることが、将来的に吉野川市政の充実につながると思います。
部活動時間の軽減（中学生）を言われていますが、スポーツに対して力を入れている様子がうかがえない。スポーツ・運動に長けている子の将来を潰しているのではないかと。社会教育？や外部コーチ・クラブなど保護者ではなく教育委員会も力を入れ、手助けしてほしい。
教員の適性とか資質能力とかを疑問に感じた時に、学校関係と切り離された機関があるといいと思います。
通級学級を山川町にも置いてほしい。送迎が必要なので、通わせたくても仕事の都合で行けない。通うためには、仕事を辞めるとか、違う職に就くなどしなければならない。グレーゾーンにいる子を支援していく体制を整えてほしい。
学校の給食費を負担してくれるなど、家庭の負担軽減があればよい。保育所などは、保育料など負担軽減措置があるが、小学校はあまりないので大変です。
保育料が高いので、仕事を増やしても負担が大きくなる。「子供会」というものが明確でないため、地域間でのスポーツ交流もない。学校では、希望のみの参加でいろいろ行うため、同じ人ばかりの交流になる。
吉野川市は東西に長いが、東部の偏りを感じる。子どもは小５で陸上をしているが、進学予定の中学校には陸上部がないと聞いている。陸上ができる環境をつくってほしい。
小学校の体育館が雨もりしているので、直してほしい。
幼稚園までの子どもばかり支援せず、小・中・高とトータルで支援してほしい。来年から幼稚園の無償化が開始されるのであれば、小・中・高の子どもも、何か支援するべきと思う。子どもが大きくなるにつれて、お金が大変になっていくから。
授業や宿題などわからないところ、不足しているところなどを教えてもらうことができる補充学習の時間をつくってもらいたい。クラブ活動の内容充実・種類（分野）を広げてほしい。
各学校のホームページに意見のできる項目があればいいと思います。直接先生に言えないことや、匿名で記述できれば要望等も言いやすいと思います。
夏休みなどの長期休暇中などは、補習をしたり宿題を増やしたりするより、学校に行って勉強させてほしいです。塾に通わすほどのお金もないので、学校で力を入れてくれると助かります。

認定こども園になってから、幼稚園が保育所の延長になっているような感じがする。以前の幼稚園や他の市の幼稚園は、小学校に入るための準備期間で学習時間があり、子どもも小学生になる気持ちの準備もできていたように思う。幼稚園の時から、学習の習慣を付けてスムーズに小学校生活が送れるようにしてほしい。
中学校（鴨島地区）から順番に合併といわれていますが、小学校からでないと、数（生徒）も減ってきていて、何かと不便さが生じてきていると思います。

生涯教育・教育と地域との関わり等について
市のホームページなど、誰でも情報を得やすい場と思うので、新しい情報が見えたり、使いやすいサイトであってほしいです。学校再編については、鴨島東部も早く動いてほしい。多目的交流センターやアリーナなどは、他に誇れるような目玉があるようなものがない。特に子育て支援センターに大きなシンボルの複合遊具があるなど。
建物（アリーナ）などは将来のことを考え、有効なもの、利便性を徹底してもらいたい。
子どもが通えるカルチャー教室が吉野川市には少ない。他市は子どもが通える（近く、安い）教室がある。遠くへ通わなければならず、親の負担がかなり大きい。新しいアリーナには、子どもの講座がたくさんできることを期待している。
多目的交流センターにはとても期待している。古い体育館はトイレも不衛生なので、きれいで大きなアリーナができるのがすごく楽しみ。
川島町にできる多目的グラウンドは、幼児からお年寄りが利用できるように、遊具を置いたりウォーキングもできるようにしてほしいです。誰でもいつでも入れるようにしてほしいです。
高齢者を対象にした講座は昼（平日）の時間帯が多いが、働いている人が参加できる時間帯は少ない。キッズスペースがあればなおよい。子ども対象の講座もかなり少ない。山川地区で開催のものが少ない。どこで、どのようなことが行われているか、申し込みはいつかなど、情報が入ってこない。
水泳など安くできるようにしてもらいたいです。子どもと遊んだりスポーツを楽しめる（卓球など）施設ができれば嬉しいです。
老朽化が進んでいる体育館がある。学校の行事優先はよいが、その間使えないので施設なども増やしてほしい。スポーツをする子どもが少ないので、もっとスポーツ少年団などでいろんなイベントをしてほしい。
地域格差なく、平等に教育を受けられる環境を整えてほしいです。特に西部地域でのいろんなスポーツの場所や機会が多くあればよいと思います。
子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に合った施設の充実を望みます。
鴨島地区に住んでいるが、子どもたちが集まって遊べる場所が少ない。学校も野球やサッカーがある日は遊べず、家でゲームになることが多い。もっと空地进行を有効利用して公園を多くつくってほしい。子どもの運動不足、体力向上につながると思う。
子ども（小中学校）の医療費を無料にしてほしい。他の市は行っているところがある。
結婚で関西からこちらに引越して来て感じるのは、保守的な地域性と人間関係です。この狭い地域で子どもたちが将来、多様な人達を受け入れ、グローバルに活躍できるように育つのか疑問です。

教育より市民税が高すぎる。その分、子どもにお金を使うことができない。人が通らないところに道をつくる前に、子育てしやすい市にしてほしい。
子育て支援を充実させると言いながら、親は小さい時から保育所に預け、自分達の娯楽を楽しみ、子どものことを真剣に考えず、公共機関に任せている。また、自分のことを棚に上げ、教職員ばかりに子育てを押し付けているように思う。もっと子育ての楽しさ、親としての役割を教えるような場所があればいい。
情報がない。教育施策についてどこでコンセンスを得たのか。施策のアウトプットが学校等を通じてないので、施策そのものについて気づいていない。ただ、学校等の教育については満足している。
男だから～、女だから～、男はこうあるべき、女はこうでなければならない、などの勝手な価値観の押し付けは偏見につながるし、人が成長する中であまり大切なことではないように思います。生きていく上で欠かせない、性教育を充実させてほしいです。
吉野川市の公式サイトでの情報の更新があまりに少ない。トップページから目的ページ（教育に関すること）を見つけにくい。時間や場所関係なくチェックできるウェブサイトの整理をお願いします。
以前であれば、ゆとりある教育を目指していたように思いますが、核家族になれば子どもと過ごす時間も少ないでしょう。時間がなくても時間をつくり、愛情を注ぎ、何事も子どもと共有することが大切だと思います。豊かな心、道徳心のある思いやりもある、そんな子どもたちに成育してほしいです。
文化財の存続、早めの対応を。

吉野川市の教育や生涯学習に関するアンケート

【アンケートご協力をお願い】

みなさまには、日頃から市の教育行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

吉野川市教育委員会では、「吉野川市教育振興計画」が平成 30 年度で終了するにあたり、「吉野川市教育振興計画（第2期）」を策定することとなりました。このアンケート調査は、第2期計画の基礎資料とするため、みなさまの教育や生涯学習、文化・スポーツ（レクリエーション含む）活動などに対するご意見をお聞かせいただくものです。

本アンケート調査は、市内の学校・園に通う小学校5年生・中学校2年生及び就学前の子どもをもつ保護者の方と、吉野川市にお住まいの 18 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 1,000 名に対して、無記名で実施するものです。ご回答いただいた内容は、統計的に集計・処理され、個人が特定されることはありません。悪いのまますご回答ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月 吉野川市教育委員会

○この調査は無記名で行いますので、氏名を記入する必要はありません。

【 ●郵送でこの調査票が届いた方は、あて名のご本人がお答えください。 ●お子さんがこの調査票を持ち帰った方は、保護者がお答えください。 ○回答は、設問ごとに（1 つだけ○）、（主なもの 3 つまで○）など、それぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いします。 ○回答が「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）にご記入ください。 ●郵送でこの調査票が届いた方は、記入が終わられましたら、同封の返信用封筒（※切手不要）に入れて、9月14日（金）までにポストへ投函してください。 ●お子さんがこの調査票を持ち帰った方は、記入が終わられましたら、調査票が入っていた封筒に入れて、9月10日（月）までに各学校・園に提出してください。 ○ご回答いただく上でご不明な点、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

吉野川市教育委員会 教育総務課

電話 0883-22-2272

FAX 0883-22-2270

E-mail k-soumu@yoshinogawa.tokushima.jp

1. あなたご自身について、お聞きします。

問1 各項目で、あなた自身にあてはまる番号を選んでください。（それぞれ1つに○）

性別	1. 男性	2. 女性	3. （ ）
※性別による回答の傾向把握のためにお聞きしますが、回答は任意です。			
年齢	1. 18～29 歳	4. 50～59 歳	7. 80 歳以上
	2. 30～39 歳	5. 60～69 歳	
	3. 40～49 歳	6. 70～79 歳	
居住地区	1. 鴨島地区	4. 美郷地区	
	2. 川島地区	5. その他	
	3. 山川地区	(町名など：)	

問2 あなたは吉野川市(旧町村を含む)に暮らして何年ですか。(1つだけ○)

1. 5 年未満	2. 5～10 年未満	3. 10～20 年未満	4. 20 年以上
----------	-------------	--------------	-----------

問3 あなたはお子さんはいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

※別居されている場合も含みます。

1. 就学前の子	6. その他の教育機関に通っている子
2. 小学生の子	7. その他の未成年の子
3. 中学生の子	8. 大学生以外の成人の子
4. 高校生の子	9. 子はいない
5. 大学生の子	

2

61

2. 吉野川市の教育施策について、お聞きします。

問4 吉野川市における教育施策について、あなたの『満足度』は次のどれにあてはまりますか。
(それぞれの項目に1つずつ○)

	満足	やや満足	いささかも満足	やや不満	不満
1 「家庭の教育力」の理解促進と向上支援 (子育てや家庭教育に関する学習機会や情報を提供しています。)	1	2	3	4	5
2 家庭教育に関する相談機能の充実 (家庭における子育てや教育に関する疑問等に対応しています。)	1	2	3	4	5
3 幼児教育の質の向上 (一人一人の発達に応じたきめ細かな指導を行っています。)	1	2	3	4	5
4 幼稚園・認定こども園 [※] の子育て支援の充実 (給食の完全実施等、園の子育て支援を行っています。)	1	2	3	4	5
5 新たな幼児教育体制の推進 (幼稚園・認定こども園を中心とした新たな幼児教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
6 自己実現を図るための豊かな学力の育成 (子どもの学力向上や自ら学ぶ意欲の育成に取り組んでいます。)	1	2	3	4	5
7 豊かな人間性の基礎となる心の育成 (道徳教育やボランティア教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
8 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成 (体力向上や食育の推進、飲酒・喫煙の防止教育を行っています。)	1	2	3	4	5
9 未来を切り拓く力の育成 (外国語教育やICT [※] を活用した教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
10 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 (支援を要する児童生徒に寄り添った対応を行っています。)	1	2	3	4	5
11 市民に信頼される、よりよい教育環境の推進 (市民のニーズを把握しながら学校再編等を進めています。)	1	2	3	4	5
12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実 (地域と連携した体験活動や居場所づくりを推進しています。)	1	2	3	4	5
13 人権教育と生涯学習環境の充実 (人権学習・生涯学習の講座実施や図書館の充実を図っています。)	1	2	3	4	5
14 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 (各種競技大会の開催や施設の整備・改修等を進めています。)	1	2	3	4	5
15 芸術文化の振興と郷土文化の継承 (文化・芸術活動の推進、文化財の保護・活用を行っています。)	1	2	3	4	5

※認定こども園とは

教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。

吉野川市では、公立認定こども園2園(川島こども園、高越こども園)、私立認定こども園3園(認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園、鴨島かもめこども園、山瀬かもめこども園)があります。

※ICT(Information and Communication Technology)とは

情報通信技術のことを指し、ICTを活用した教育とは、教科の学習目標を達成するために教師や児童生徒がICT(電子黒板やタブレット端末等)を活用することです。

問5 吉野川市における教育施策について、あなたの思う『重要度』は次のどれにあてはまりますか。(それぞれの項目に1つずつ○)

	重要	やや重要	いささかも重要	それほど重要ではない	重要ではない
1 「家庭の教育力」の理解促進と向上支援 (子育てや家庭教育に関する学習機会や情報を提供しています。)	1	2	3	4	5
2 家庭教育に関する相談機能の充実 (家庭における子育てや教育に関する疑問等に対応しています。)	1	2	3	4	5
3 幼児教育の質の向上 (一人一人の発達に応じたきめ細かな指導を行っています。)	1	2	3	4	5
4 幼稚園・認定こども園の子育て支援の充実 (給食の完全実施等、園の子育て支援を行っています。)	1	2	3	4	5
5 新たな幼児教育体制の推進 (幼稚園・認定こども園を中心とした新たな幼児教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
6 自己実現を図るための豊かな学力の育成 (子どもの学力向上や自ら学ぶ意欲の育成に取り組んでいます。)	1	2	3	4	5
7 豊かな人間性の基礎となる心の育成 (道徳教育やボランティア教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
8 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成 (体力向上や食育の推進、飲酒・喫煙の防止教育を行っています。)	1	2	3	4	5
9 未来を切り拓く力の育成 (外国語教育やICTを活用した教育を推進しています。)	1	2	3	4	5
10 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 (支援を要する児童生徒に寄り添った対応を行っています。)	1	2	3	4	5
11 市民に信頼される、よりよい教育環境の推進 (市民のニーズを把握しながら学校再編等を進めています。)	1	2	3	4	5
12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実 (地域と連携した体験活動や居場所づくりを推進しています。)	1	2	3	4	5
13 人権教育と生涯学習環境の充実 (人権学習・生涯学習の講座実施や図書館の充実を図っています。)	1	2	3	4	5
14 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 (各種競技大会の開催や施設の整備・改修等を進めています。)	1	2	3	4	5
15 芸術文化の振興と郷土文化の継承 (文化・芸術活動の推進、文化財の保護・活用を行っています。)	1	2	3	4	5

3. 吉野川市の子どもについて、お聞きします。

問6 吉野川市の子どもやあなたのお子さんには、どのような点が特に伸びてほしいと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 規範意識	5. 勤勉さ	9. 学力
2. 根気強さ	6. 自立心	10. 体力
3. 向上心	7. 郷土愛	11. 独創力
4. 思いやりの心	8. 協調性	12. その他
()		

問7 吉野川市の子どもやあなたのお子さんの、学校や社会のきまりを守ることなどの道徳心や、社会やみんなのために思うという公共心について、どう考えですか。(1つだけ○)

1. 低下している	⇒問7(1)へ
2. 低下しているとは思わない	⇒問8へ
3. その他 ()	⇒問8へ

問7で「1. 低下している」を選んだ人にお聞きします。

問7(1) どんどころが低下していると思いますか。(主なもの3つまで○)

1. あいさつや言葉づかいなど (礼儀作法)
2. 良いことと悪いことの区別 (善悪の判断)
3. がまん強さ (忍耐力)
4. 他人を思いやること
5. ルールやきまりを守ること
6. 助け合いの気持ち
7. その他 ()

問7(2) 問7(1)で選んだことを育成するには、どうしたらよいと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 学校での教育を充実させる (命を大切に、他人を思いやる、善悪の判断など)
2. 学校での社会体験学習を充実させる (地域での体験学習、職場体験など)
3. 家庭での教育を確実にする (しつけ、あいさつをするなど社会常識を身に付けるなど)
4. 家庭での触れ合いの時間を増やす
5. 地域で大人が子どもに指導する (いけないことはいけないと指導するなど)
6. 地域社会で大人と触れ合う機会を増やす
7. その他 ()

問3で「1. 就学前の子」、「2. 小学生の子」、「3. 中学生の子」、「4. 高校生の子」のいずれかを選んだ人にお聞きします。(問3で「5」～「9」を選んだ人は、問9へお進みください。)

問8 お子さんがインターネット接続している情報機器*を使える環境がありますか。(1つだけ○)
*情報機器：パソコン、タブレット(Padなど)、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機(テレビゲーム機、携帯型ゲーム機)などのことです。

1. ある ⇒問8(1)へ	2. ない ⇒問9へ
---------------	------------

問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8(1) それはどのような機器ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. パソコン
2. タブレット (Pad など)
3. 携帯電話
4. スマートフォン
5. ゲーム機 (テレビゲーム機、携帯型ゲーム機など)
6. その他 ()

問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8(2) お子さんは情報機器を使って何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ゲームをする
2. 買い物をする
3. ブログをする (自分でブログを開設して投稿する)
4. メールなどのやり取りをする
5. SNS (LINE や Facebook など) をする
6. ソフトを使って勉強する
7. 文章を書く
8. 調べものをする
9. 自分のホームページを持っている
10. 何をしているのか知らない
11. その他 ()

問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8(3) お子さんがメールや情報機器の通信機能を使用したことにより、トラブルが起きたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 書き込みやメールでのいじめや中傷にあった
2. ウィルスに感染したり、個人情報流出したりした
3. 思いがけない請求がきた
4. 知らない人と出会い、トラブルに巻き込まれた
5. トラブルが起きたことはない
6. その他 ()

問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問8(4) 通信機器を使うにあたって、お子さんと家庭内のルールを決めていますか。
(1つだけ○)

1. 決めている 2. 決めていない

4. 教育について、お聞きします。

問9 吉野川市の幼稚園・認定こども園の指導や教育環境について期待することは何ですか。

(主なもの3つまで○)

1. 自然体験、社会体験などの体験活動を充実する
2. すべての子どもへの公平な対応、適正な評価をする
3. 子どもの悩み（友達関係・いじめなど）に真摯に対応する
4. 特別な支援が必要な子どもに対する理解と対応を充実する
5. 保護者との信頼関係を構築する
6. 子どもの安全（危機管理）に配慮する
7. 施設や設備を充実する
8. その他（ ）
9. 特にない

問10 地域に開かれた学校づくりや地域と学校が一緒に子どもたちを育ていく上で、どのようなことが重要だと考えますか。(主なもの3つまで○)

1. 学校の教育活動について、地域の方が直接、学校に意見を表明できること
2. 地域と学校をつなぐコーディネーター（調整役）を置くこと
3. 学校と地域が情報を積極的にやり取りする体制をつくること
4. 学校支援ボランティアのような形で地域の方が積極的に学校と関わっていくこと
5. 学校施設をもっと地域が活用できるようにすること
6. 学校を使って、休日や放課後に市民が参加できる講座やイベントを開催すること
7. その他（ ）
8. わからない



問11 吉野川市の小・中学校の指導や教育環境について期待することは何ですか。

(主なもの3つまで○)

1. わかりやすい授業を実践する
2. 専門的な知識や技能を発揮して、質の高い教育を行う
3. すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定をする
4. 子どもの悩み（友達関係・いじめ・進路・非行など）に真摯に対応する
5. 特別な支援が必要な子どもに対する理解と対応を充実する
6. 児童・生徒・保護者との信頼関係を構築する
7. 部活動に積極的に取り組める環境をつくる
8. 子どもの安全（危機管理）に配慮する
9. 子どもに社会の規範やルールを身に付けさせる
10. その他（ ）
11. 特にない

問12 特別支援教育[※]について、吉野川市として取り組むべきことは何だと思えますか。

(主なもの3つまで○)

1. 個々の子どもの特性にあった支援
2. 友だちや集団とのかわりのなかでともに育ち合う環境の整備
3. 他の学校との交流や共同学習の推進
4. 安全教育や防災教育の充実
5. 人権教育の充実
6. 就学に関する相談体制や進路指導の充実
7. 特別支援教育を理解するための啓発活動
8. 関係機関の連携による支援の充実
9. 教職員の指導力向上
10. その他（ ）

問13 吉野川市では市内の小・中学校の学校再編を進めています。本年4月には学校再編により、新たに高越小学校[※]が開校しています。吉野川市における学校再編について、どうお考えですか。(1つだけ○)

※高越小学校：山川町川田地区の川田小学校、川田中小学校、川田西小学校と美郷地区の種野小学校の4校の統合により、平成30年4月に誕生した小学校です。

1. 他の地区も早急に推進すべきである
2. もうしばらく周辺の動向を見てから、推進するかどうかを決めるべきである
3. わからない
4. 推進するべきではない
5. その他（ ）

※特別支援教育とは？

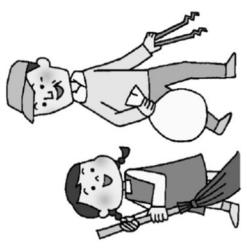
障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

5. 教育における家庭・学校・地域の役割について、お聞きします。

問 14 子どもたちが健やかに育つには、主にどこでの役割が重要だと思いますか。
各項目で最も重要な役割だと思ふものに「○」、次いで重要な役割だと思ふものに「△」をつけてください。

	家庭・保護者	幼稚園・認定こども園・学校	地域※
記入例) ○○を育てる	◎	○	
1 学力の基礎・基本を身に付けさせる			
2 社会のマナーやルールを教える			
3 思いやりや自他を大切にすることを育てる			
4 社会に貢献しようとする心を育てる			
5 表現力やコミュニケーション力を伸ばす			
6 運動能力や体力を向上させる			
7 規則正しい生活習慣を身に付けさせる			
8 健康に配慮した食生活を身に付けさせる			
9 将来の進路や働くことへの意識を持たせる			
10 他国の文化を大切にすることを育てる			
11 生まれ育った地域を愛する心を育てる			
12 自然を大切にすることを育てる			
13 物事を論理的に考える力を育てる			
14 自発的に行動する意欲を育てる			

※ここでの「地域」とは、地域住民をはじめ、自治会、スポーツクラブや文化クラブ、青少年団体、企業など、地域で活動している組織・団体を指します。



問 15 あなたが子どものときに比べ、家庭と地域とのかわりか変化していると思いますか。
(1つだけ○)

1. かわわりが強くなっている
2. あまりかわりがない
3. かわわりが弱くなっている
4. その他
- ⇒問 15(1)へ

問 15で「3. かわわりが弱くなっている」を選んだ人にお聞きします。

問 15(1) その原因は何だと思えますか。(1つだけ○)

1. 地域とかわわりを持つ必要性が低くなっている
2. 保護者が仕事などで忙しく、近所で顔を合わせる機会が少ない
3. 社会全体として、地域や他人に干渉しない風潮がある
4. 地域でのイベントや交流の場が失われつつある
5. 地域とのかわわりに負担を感じる
6. その他
- ⇒問 15(1)へ

問 16 あなたは、家庭・学校・地域などの教育の場面で、協力できる機会があれば協力したいと思えますか。(1つだけ○)

1. はい
2. いいえ
- ⇒問 17へ

問 16で「1. はい」を選んだ人にお聞きします。

問 16(1) あなたが教育の場面で協力できること・したいことは次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 児童・生徒の通学の見守り
2. 学校行事・授業への参加
(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習への参加など)
3. 自分の特技を教えること (地域の食材を使った調理の指導など)
4. 地域の歴史・文化の伝承
5. スポーツ・健康づくりの指導
6. 子育ての相談相手になること
7. 児童・生徒に体験学習の場を提供すること (米作り、収穫体験など)
8. その他



6. 生涯学習について、お聞きします。

問 17 あなたは市や公民館で行っている講座に参加したことがありますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 現在、参加している | } ⇒問 17(1)へ |
| 2. 参加したことがある (今は参加していない) | |
| 3. 参加したことがない | |

問 17で「1. 現在、参加している」または「2. 参加したことがある (今は参加していない)」を選んだ人にお聞きします。

問 17(1) 講座に参加してどう思いましたか。(1つだけ○)

- | |
|------------------|
| 1. どちらかという満足している |
| 2. どちらともいえない |
| 3. どちらかという不満である |

問 18 あなたがこれまでにしたことのある習い事や学習活動の分野は何ですか。

(主なもの3つまで○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 家庭・生活に関すること | 9. 介護に関すること |
| 2. 環境や福祉など市民生活に関すること | 10. スポーツ・レクリエーション |
| 3. ボランティア活動* | 11. 防災・防犯・交通安全に関すること |
| 4. 地域の歴史・文化に関すること | 12. ICT・パソコン教室 |
| 5. 文化芸術活動 | 13. 外国語での会話 |
| 6. 職業に関する知識や技能 | 14. 国際交流に関すること |
| 7. 園芸に関すること | 15. 市の行政に関すること |
| 8. 健康づくりに関すること | 16. その他 () |

問 19 今後、あなたがやってみたい習い事や学習活動の分野は何ですか。

(主なもの3つまで○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 家庭・生活に関すること | 9. 介護に関すること |
| 2. 環境や福祉など市民生活に関すること | 10. スポーツ・レクリエーション |
| 3. ボランティア活動* | 11. 防災・防犯・交通安全に関すること |
| 4. 地域の歴史・文化に関すること | 12. ICT・パソコン教室 |
| 5. 文化芸術活動 | 13. 外国語での会話 |
| 6. 職業に関する知識や技能 | 14. 国際交流に関すること |
| 7. 園芸に関すること | 15. 市の行政に関すること |
| 8. 健康づくりに関すること | 16. その他 () |

*吉野川市で取り組んでいるボランティア活動は？

- ・道路 (市道、へんろ道) の清掃ボランティア
- ・河川区域の緑化、清掃ボランティア
- ・市主催イベントの運営ボランティア など



問 20 市の生涯学習環境について不足している、あるいは必要であると思うものは何ですか。
(主なもの2つまで○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 講座、講演会、イベント等の開催数 |
| 2. 学習する場所 |
| 3. 学習活動グループのネットワークづくりの支援 |
| 4. 指導者の人数 |
| 5. その他 () |
| 6. 特 に ない |

7. 市の図書館 (室) について、お聞きします。

問 21 あなたは市の図書館(室)をどの程度利用していますか。(1つだけ○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 週に1回以上 | } ⇒問 21(1)へ |
| 2. 月に2～3回程度 | |
| 3. 月に1回程度 | |
| 4. 年に数回程度 | } ⇒問 21(2)へ |
| 5. 過去に何回か行ったことがあるだけ | |
| 6. 図書館(室)は利用したことがない | |

問 21で「1.」「4.」のいずれかを選んだ人にお聞きします。

問 21(1) あなたは現在の図書館(室)に満足していますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 満足している | 4. どちらかという不満である |
| 2. ほぼ満足している | 5. 不満である |
| 3. どちらともいえない | |

問 21で「5.」または「6.」を選んだ人にお聞きします。

問 21(2) 図書館(室)を利用しない理由は何か。(主なもの2つまで○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 特に必要性を感じないから |
| 2. 図書館(室)が近くにないから (自宅や勤務地から遠い) |
| 3. 交通の便が悪いから |
| 4. 利用したいときに開館していないから |
| 5. 必要な本などがないから |
| 6. 必要な本は自分で買うから |
| 7. 図書館(室)が入りづらい雰囲気だから |
| 8. 本をあまり読まないから |
| 9. その他 () |

問 22 あなたは麻植協同病院跡地に建設中の多目的交流センター[※](仮称)内に、図書館ができることを知っていますか。(1つだけ○)

※多目的交流センター：麻植協同病院跡地に建設中のアリーナと一体的に利用される地域交流施設。

2020 年4月オープン予定。

(1階：社会福祉協議会、2階：地域交流センター、3階：図書館、4階：子育て支援センター)

1. 知っている 2. 知らない

問 23 新しくできる図書館にどのようなことを期待しますか。(主なもの3つまで○)

1. 休館日が少ないこと
2. 開館時間が長いこと
3. 駐車場や駐輪場が広いこと
4. 専門的な本や雑誌が豊富であること
5. 実用書、ベストセラー、趣味・娯楽に関する本や雑誌が豊富であること
6. 子ども向けの読み物や絵本が豊富であること
7. 新聞や雑誌が豊富であること
8. 音楽や映画などのDVD、ビデオ、CDなどが豊富であること
9. インターネットの利用が可能なパソコンの台数が多いこと
10. 調べもの手伝いや相談に願う人が常時いること
11. 利用者に対する接遇が良いこと
12. 図書館からの情報やお知らせが充実していること
13. 自習室や読書スペースが広いこと
14. 図書館の行事やイベントがたくさんあること
15. 点訳や盲点などの書籍・テープなどが豊富であること
16. 郷土の歴史・自然・産業・民俗などにに関する資料が豊富であること
17. その他 ()

8. 市のスポーツ環境について、お聞きします。

問 24 あなたは、この1年間でどの程度、運動やスポーツをしていますか。(1つだけ○)

1. ほぼ毎日 3. 週に1～2回 5. ほとんどしていない
2. 週に3～4回 4. 月に1～2回

問 25 あなたは、運動やスポーツを今後したいと思いますか。(1つだけ○)

1. したい ⇒問 25(1)へ 2. したくない ⇒問 25(2)へ



問 25 で「1. したい」を選んだ人にお聞きします。

問 25(1) あなたが運動やスポーツをしようと思うのは、どのような理由からですか。

(主なもの2つまで○)

1. 健康・体力づくりのため 5. 家族や仲間と楽しむため
2. ストレス解消のため 6. 試合や大会のため
3. 趣味として楽しむため 7. 運動やスポーツをする場所が近くにあるから
4. 体を動かすことが好きだから 8. その他 ()

問 25 で「2. したくない」を選んだ人にお聞きします。

問 25(2) あなたが運動やスポーツをしないのは、どのような理由からですか。

(主なもの2つまで○)

1. 時間がないから 7. 年齢による体力の衰えから
2. 場所がないから 8. スポーツ教室などがないから
3. 仲間がないから 9. 気軽に入れるサークルがないから
4. お金がかかるから 10. 運動やスポーツが嫌いだから
5. 指導してくれる人がいないから 11. その他 ()
6. 健康上の理由から

問 26 吉野川市で充実してほしい運動・スポーツの取り組みは何ですか。(主なもの3つまで○)

1. 健康・体力づくり講座の開設
2. 運動・スポーツ教室の開催
3. 運動・スポーツ大会の開催
4. 運動・スポーツ指導者養成講座の開設
5. 高齢者や障がい者のための運動・スポーツ行事の開催
6. 運動・スポーツ指導者の派遣
7. 運動・スポーツ施設の増設
8. 運動・スポーツに関する情報の提供
9. その他 ()
10. 特になし

問 27 あなたは新しくできるアリーナ[※]のことを知っていますか。(1つだけ○)

※アリーナ：麻植協同病院跡地に建設中のスポーツ施設。バレーボール・バスケットボールなどができるメインアリーナ・サブアリーナの他、様々な器具を備えたトレーニング室を完備。

2020 年4月オープン予定。

1. 知っている 2. 知らない

吉野川市の教育や生涯教育に関するアンケート
結果報告書

発行年月／2018（平成 30）年 11 月
発 行／吉野川市教育委員会 教育総務課
〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島 115 番地 1
TEL：0883-22-2272 FAX：0883-22-2270
